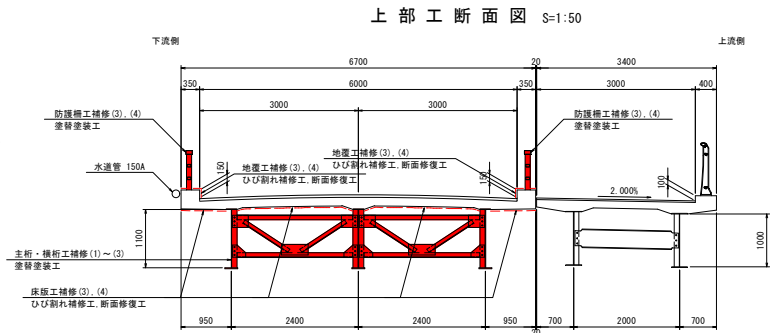
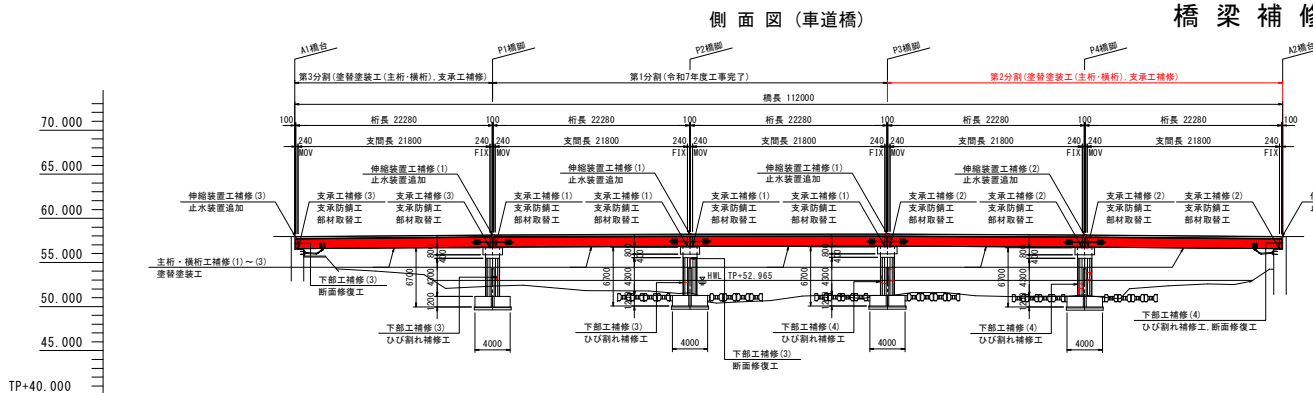
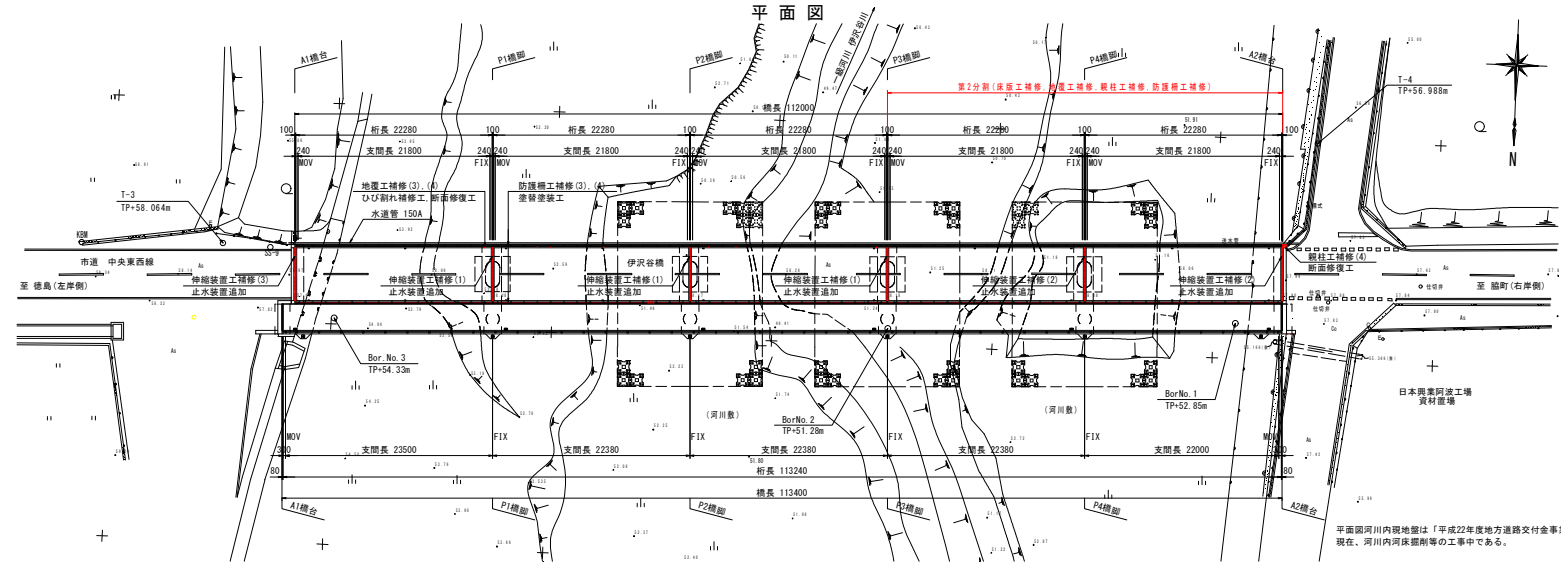
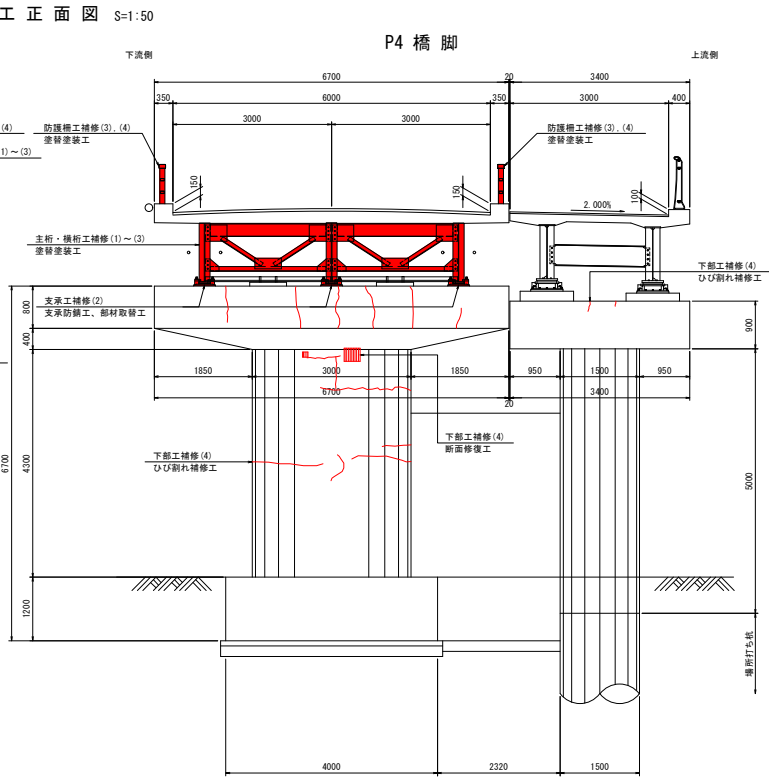
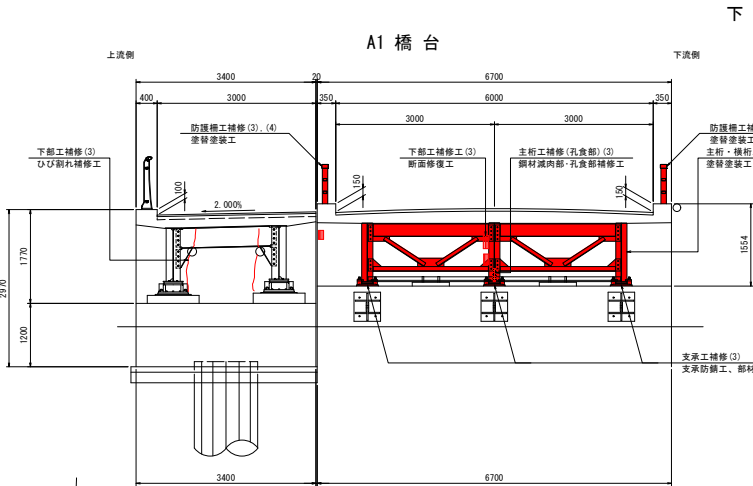
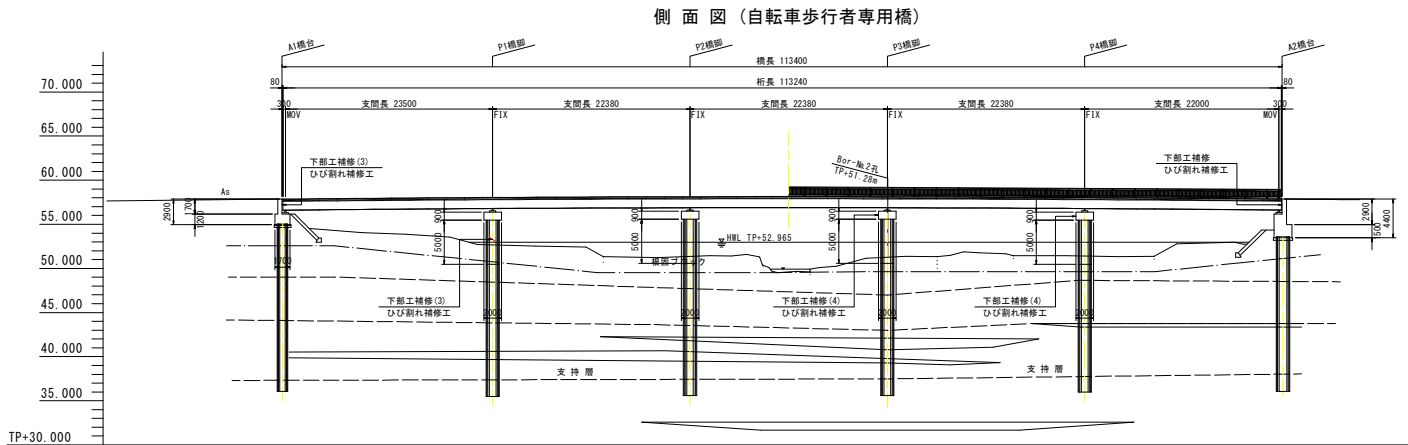




補修工法一覧

補修工法一覧			
部位・部材	劣化状況	補修工法	備考
車道橋：主桁・横桁工	腐食、防食機能の劣化	塗装塗装工	Rc-1塗装系
車道橋：防護欄工	腐食	塗装塗装工	Ra-111塗装系
車道橋：主桁工	腐食(孔食)	鋼材減肉部・孔食部補修工	当て板補修工
車道橋：床版工	ひび割れ	ひび割れ補修工	低圧注入工法
車道橋：縦柱工	うき、割離、鉄筋露出	断面修復工	左官工法
	ひび割れ	ひび割れ補修工	低圧注入工法
車道橋：地盤工	うき、割離、鉄筋露出	断面修復工	左官工法
車道橋：縦柱工(A2脚)	うき、割離、鉄筋露出	断面修復工	左官工法
車道橋：床版工	腐食	鋼材取替工	金風溶射
車道橋：主桁工	腐食、ボルトのゆるみ	鋼材取替工	ピンナプレート、ナット交換
車道橋：伸縮装置工	主桁・支保等への漏水	止水装置追加	龍式止水材
車道橋：下部工	ひび割れ	ひび割れ補修工	低圧注入工法
歩道橋：下部工	うき、割離、鉄筋露出	断面修復工	左官工法
	ひび割れ	ひび割れ補修工	低圧注入工法

施工は4分割にて実施する。図中の引出線中の()番号は、施工分割を示す。



現橋諸元

路線名	市道 中央東西線
橋名	伊沢谷橋
橋梁規格	車道橋
築設年度	昭和47(1972)年 3月
設計荷重	2等橋(TL-14t)
形式	5径間連続RC床版合成版桁橋
橋長	112.000m
桁長	5径22.280m
支間	5径21.800m
有効幅員	6.000m
傾角	θ=90°
縦断勾配	1.0%程度 凸型勾配
横断勾配	2.0% 放物線勾配
舗装	アスファルト舗装
橋体形式	逆T式橋台、張出式橋脚
下部工材	鉄筋コンクリート
適用基準	道路橋示方書 昭和39年

平面図河川内視地盤は「平成22年度地方道路交付金事業 中伊沢谷橋連続補修設計業務」の測量結果を使用している。
現在、河川内河床掘削等の工事中である。

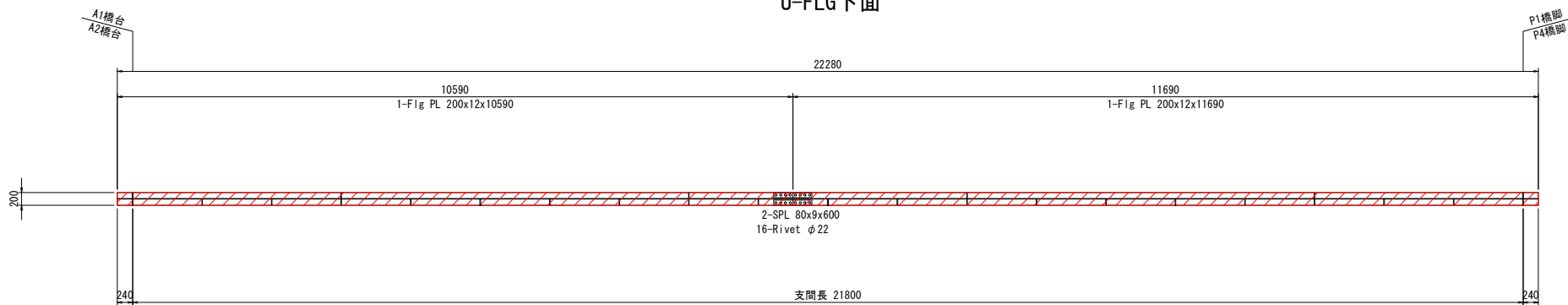
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事(第2工区)
路線名等	市道 中央東西線
工事箇所	阿波市阿波町御型
図面名	橋梁補修計画一般図
縮尺	図示
図面番号	1 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント
事業者名	徳島県阿波市

塗 替 塗 装 工 詳 細 図 (1/6)

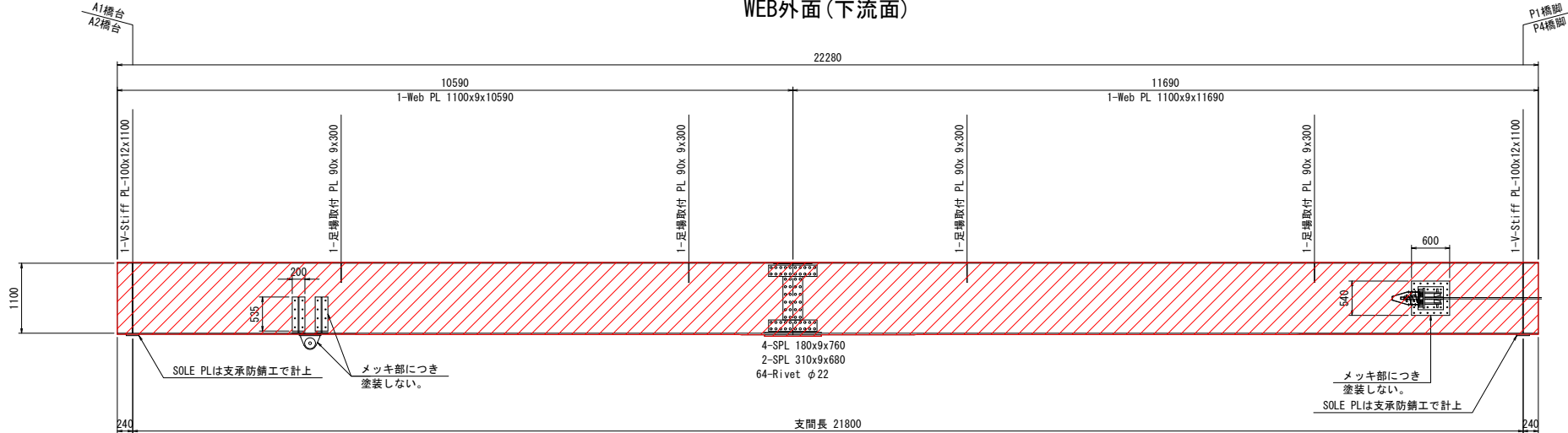
S=1:50

車道橋 第1,5径間 主桁G1, G3桁

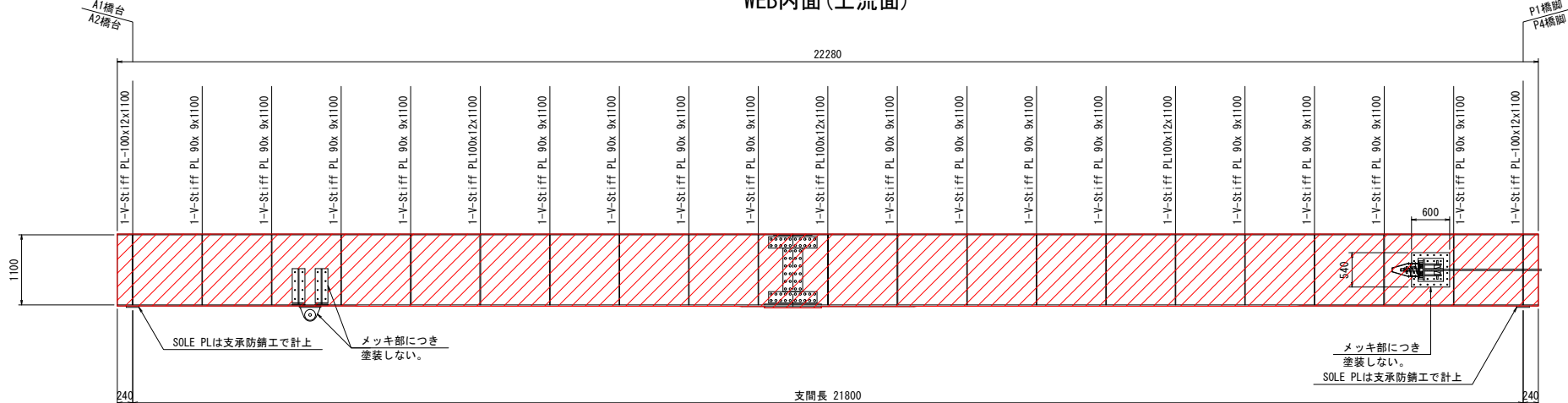
U-FLG下面



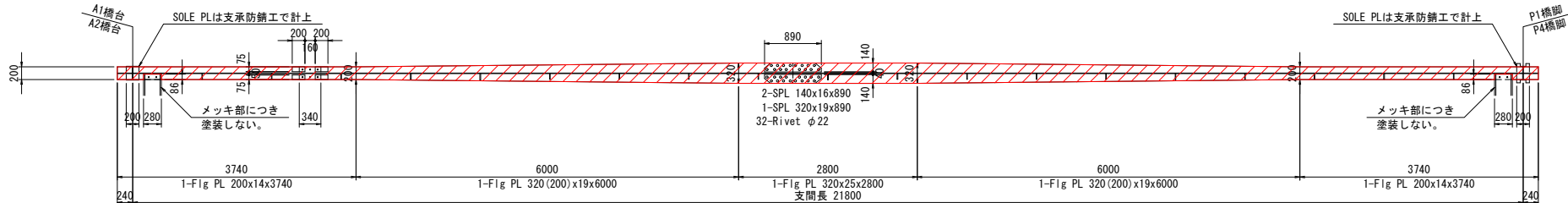
WEB外面 (下流面)



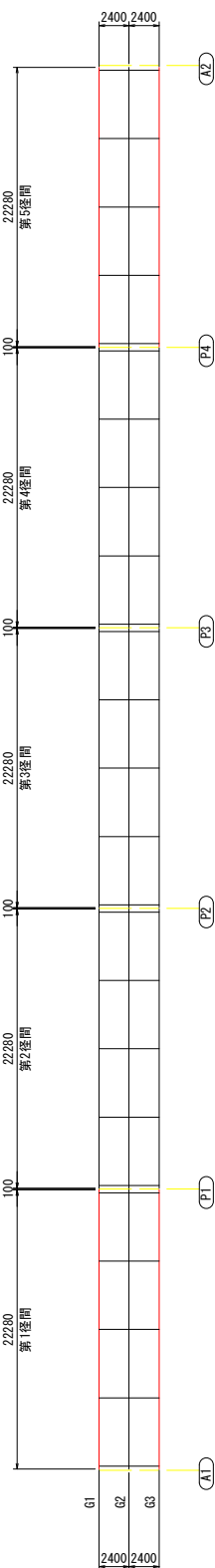
WEB内面 (上流面)



L-FLG上面



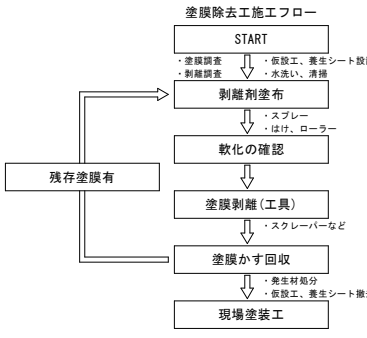
配置図 S=1:300



塗替塗装規格表 (Rc-I塗装系 (スプレー※1))

名 称	規 格	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	塗膜除去工※4+I種※3	-	4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1~10日※2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1~10日
中塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	170	1~10日
上塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	140	1~10日

- ※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3: プラスト処理による除せいはISO Sa 2 1/2とする。
※4: 主桁・横桁等の鋼部材は、PCB、鉛等の有害物質を含むため塗膜除去工法を施工する。
注記)
1. 塗替え塗装に関しては、鋼道路橋防食便覧 (H26年3月) に基づき、Rc-I塗装系を使用すること。
2. 素地調整は、塗膜除去工 (塗膜剥離) 及びI種ケレンで施工を実施する。
3. 防食対策等を実施した上で施工を実施すること。
4. 防食対策等を実施した上で施工を実施すること。
5. 防食対策等を実施した上で施工を実施すること。
6. 防食対策等を実施した上で施工を実施すること。
7. 防食対策等を実施した上で施工を実施すること。
8. 防食対策等を実施した上で施工を実施すること。



塗膜除去歩掛は、塗装仕様、膜厚、施工時期により塗膜除去能率が大きく変わるため、当初から確定することは困難である。(設計時は推定) によって、設計図書条件を標準案とした事前の剥離試験を行い、現場条件に適した塗膜剥離剤の選定および剥離剤塗布回数 (剥離回数) を再設定、設計変更対応とする。

[剥離剤を使用した塗料の剥離作業における労働災害防止について]国土交通省事務連絡を参考に、剥離剤は水系を推奨する。

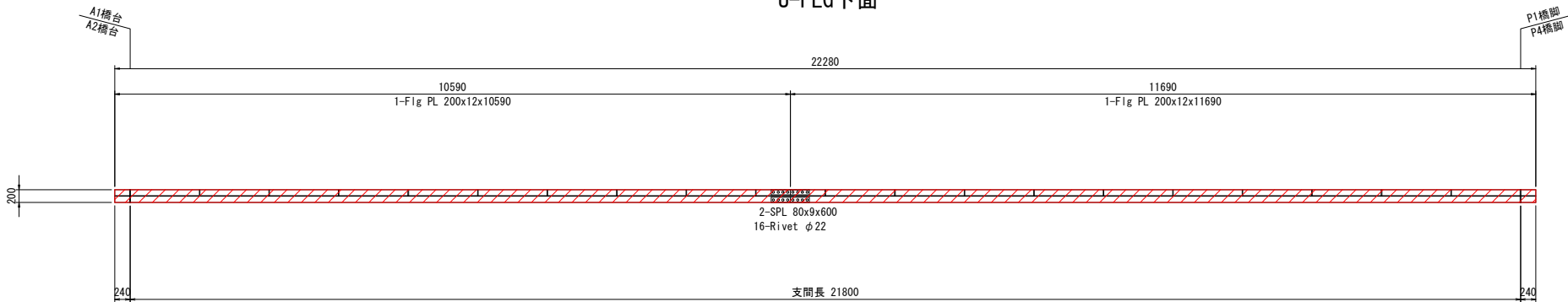
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)
路線名等	市道 中央東西線
工事箇所	阿波市阿波町綱懸
図 面 名	塗替塗装工詳細図 (1/6)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	2 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント
事業者名	徳島県阿波市

塗 替 塗 装 工 詳 細 図 (2/6)

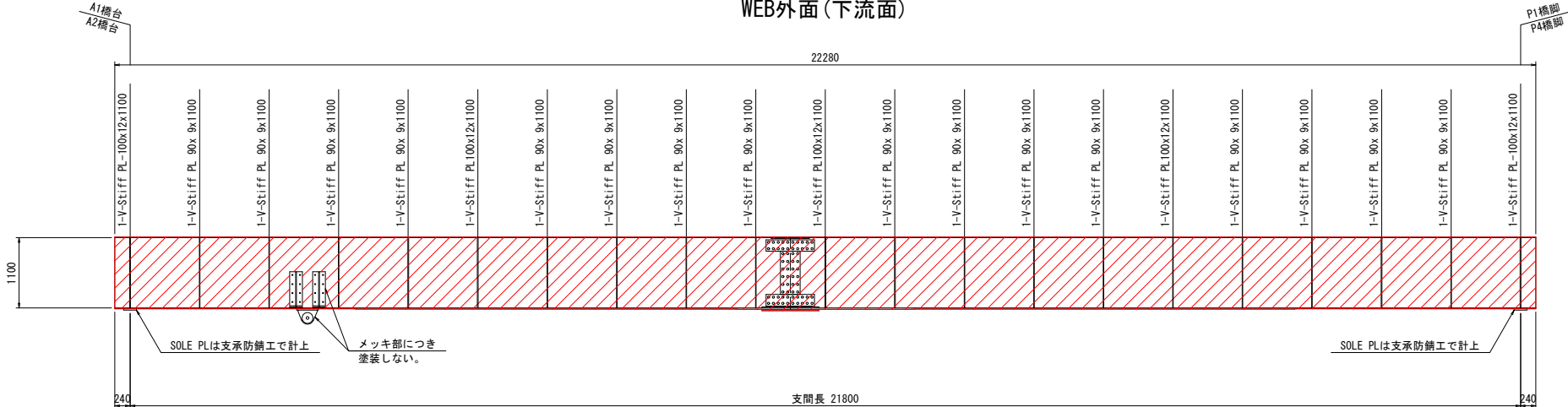
S=1:50

車道橋 第1,5径間 主桁G2桁

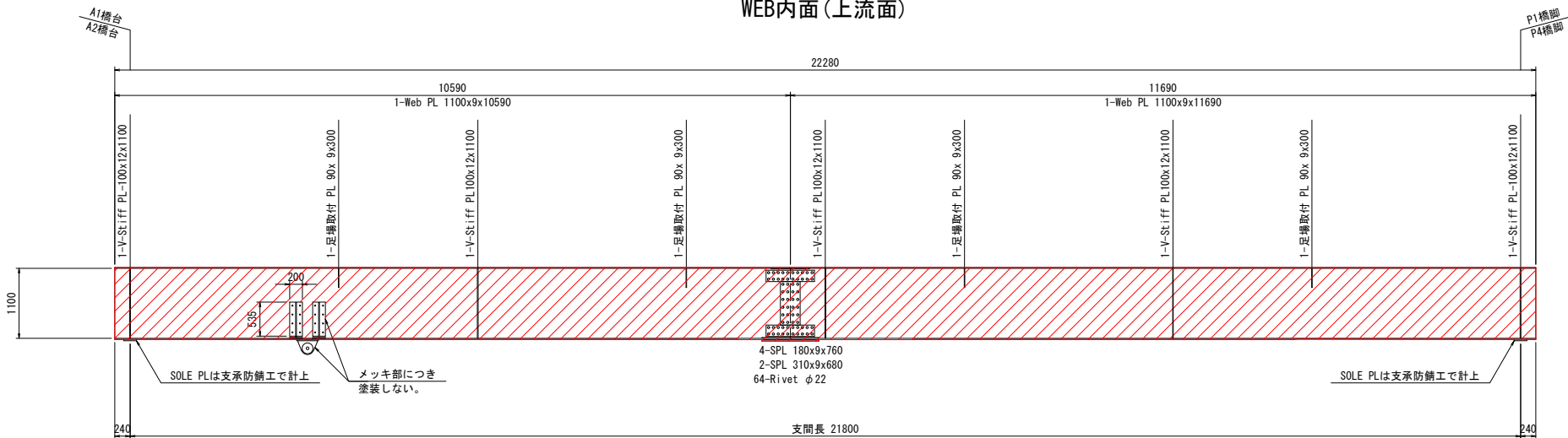
U-FLG下面



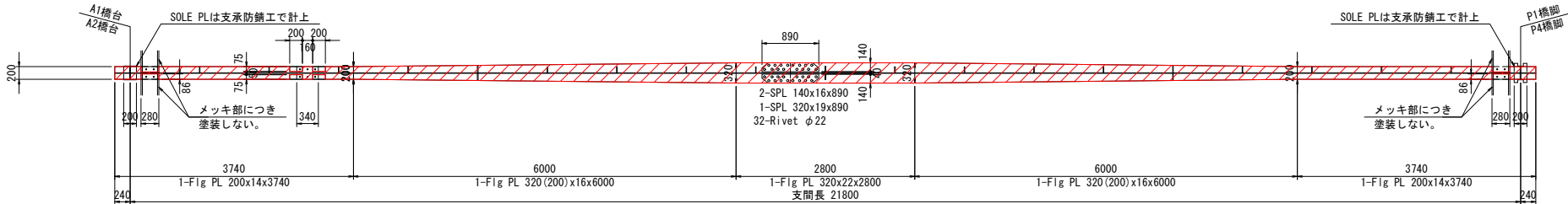
WEB外面 (下流面)



WEB内面 (上流面)



L-FLG上面



塗替塗装規格表 (Rc-I塗装系 (スプレー※1))

名 称	規 格	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	塗膜除去工※4+1種※3	-	4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1～10日※2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1～10日
中塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1～10日
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1～10日

※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。

※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

※3: プラスト処理による除せいはISO Sa 2 1/2とする。

※4: 主桁・横桁等の鋼部材は、PCB、鉛等の有害物質を含むため塗膜除去工法を施工する。

注記)

1. 塗替え塗装に関しては、鋼道路橋防食便覧 (H26年3月) に基づき、Rc-I塗装系を使用すること。

2. 素地調整は、塗膜除去工 (塗膜剥離) 及び1種ケレンで施工を実施する。

防じん対策等を実施した上で施工を実施すること。

3. 図中の寸法等は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。

4. 施工数量については、現地再確認を行った上、発注者の承諾を得て決定すること。

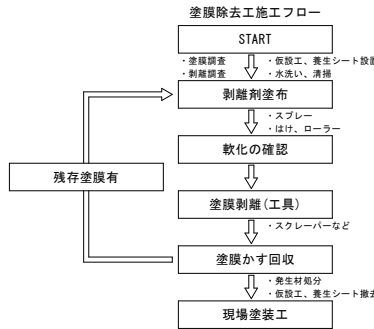
5. 施工前に監督員と協議を実施し彩色等の確認を行うこと。

6. 床版端部鋼板の一部に伸縮止水装置が設置されるため、4者協議 (発注者、受注者、塗装業者、設計者) を実施し、施工手順や塗膜の処理方法等について決定すること。

7. 既存塗膜に低濃度PCB及び鉛が含まれているため、環境対策資機材及び安全衛生保護具を用いて安全衛生に留意し施工を行うこと。

8. 塗膜かすは、低濃度PCBが含まれているため、「PCB無害化処理認定施設」の資格を保有している処理業者で処理を行うこと。

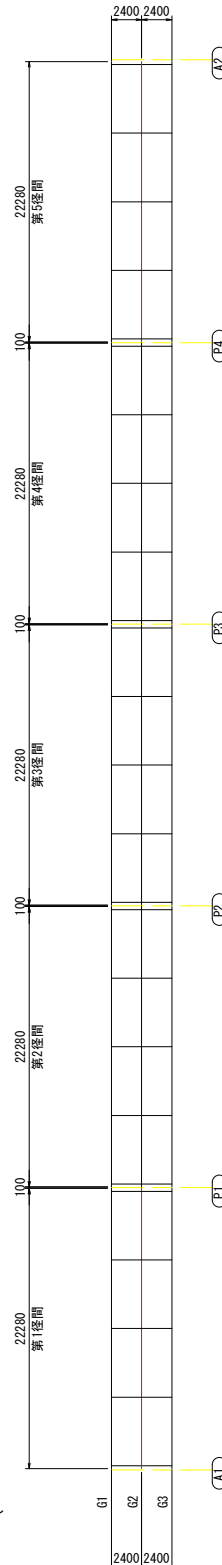
なお、徳島県内には上記資格を保有している処理業者が存在しておらず、他県への持ち出しとなるため、他県の条例を遵守し処理を行うこと。



塗膜除去歩掛は、塗装仕様、膜厚、施工時期により塗膜除去能率が大きく変わるため、当初から確定することは困難である。(設計時は推定) によって、設計図書条件を標準案とした事前の剥離試験を行い、現場条件に適した塗膜剥離剤の選定および剥離剤塗布回数 (剥離回数) を再設定、設計変更対応とする。

[剥離剤を使用した塗料の剥離作業における労働災害防止について] 国土交通省事務連絡を参考に、剥離剤は水系を推奨する。

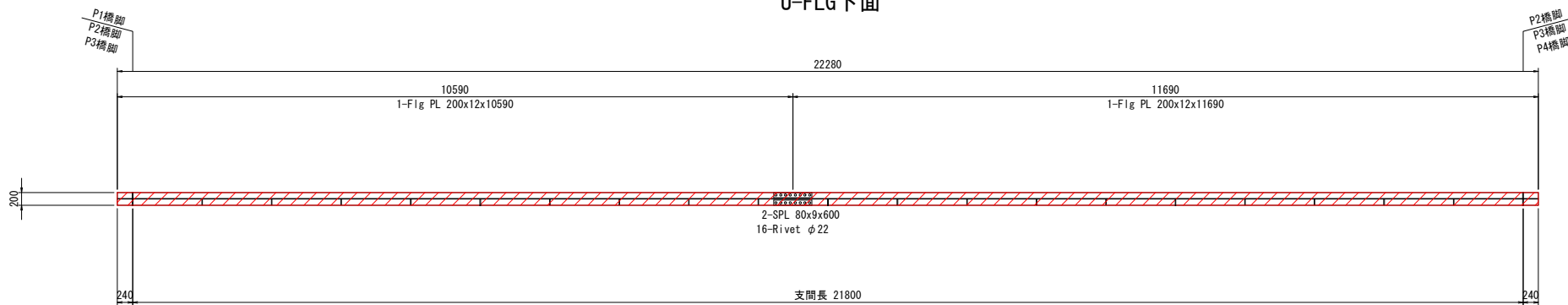
配置図 S=1:300



工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図 面 名	塗替塗装工詳細図 (2/6)		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

S=1 : 50

U-FLG下面



WEB外面(下流面)

22280

10590
1-Web PL 1100x9x10590

11690
1-Web PL 1100x9x11690

1100

600
540

1-足場取付 PL 90x 9x300

1-足場取付 PL 90x 9x300

1-足場取付 PL 90x 9x300

1-足場取付 PL 90x 9x300

1-V-Stiff PL-100x12x1100

1-V-Stiff PL-100x12x1100

240

支間長 21800

メッキ部につき
塗装しない。
SOLE PLは支承防錆工で計上

メッキ部につき
塗装しない。
SOLE PLは支承防錆工で計上

4-SPL 180x9x760
2-SPL 310x9x680
64-Rivet φ22

[illegible]

SOLE PLは支那防錆工で計上

SOLE PLは支那防錆工で計上

メッキ部につき塗装しない。

メッキ部につき塗装しない。

2-SPL 140x16x890
1-SPL 320x19x890
32-Rivet φ22

1-Fig. PL 200x14x3740
1-Fig. PL 320(200)x19x6000
1-Fig. PL 320x25x2800
1-Fig. PL 320(200)x19x6000
1-Fig. PL 200x14x3740

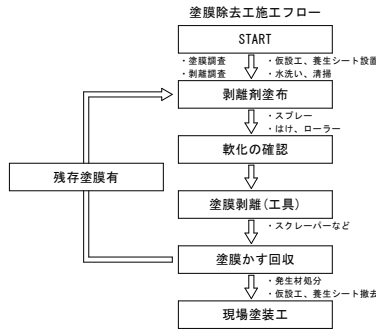
支間長 21800

名 称	規 格	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	塗膜除去工※4+1種※3	-	4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1～10日※2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1～10日

※1:原則としてはスプレー塗装とするが、発注者との協議の上では、ローラーに変更もできる。
 ※2:現場の施工条件に応じて塗装期間を別途取り決める場合もある。
 ※3:プラスト処理による除け度はISO Sa 2 1/2とする。
 ※4:主材・横桁等の鋼部材は、PCB、鉛等の有害物質を含むため塗除除去工法を施工する。

注記

- 塗替え塗装に関しては、鋼道路橋防食便覧(H26年3月)に基づき、Re-I塗装系を使用すること。
- 素地調整は、塗除除去(塗膜剥離剤)及び1種ケレンで施工を実施する。
 防錆対策等を実施した上で施工を実施すること。
 図中の寸法等は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。
- 施工数量については、現地再確認を行った上、発注者の承諾を得て決定すること。
- 施工前に監督員と協議を実施し彩色等の確認を行うこと。
- 床版塗装鋼板の一部に伸縮止水装置が設置されるため、4者協議(発注者、受注者、塗装業者、設計者)を実施し、施工手順や塗除の処理方法等について決定すること。
- 既存塗膜に低濃度PCB及び鉛が含有しているため、環境対策資材及び安全衛生保護具を用いて安全衛生に留意し施工を行うこと。
- 塗除業者は、低濃度PCBが含有しているため、「PCB無害化処理認定施設」の資格を保有している処理業者で処理を行うこと。なお、徳島県内には上記資格を保有している処理業者が存在しておらず、他県への持ち出しとなるため、他県の条例を遵守し処理を行うこと。



塗膜除去歩掛は、塗装仕様、膜厚、施工時期により塗膜除去能力が大きく変わるため、当初から確定することは困難である。(設計時は推定)

よって、設計図書条件を標準案とした事前の剝離試験を行い、現場条件に適した塗膜剝離剤の選定および剝離剤塗布回数(剝離回数)を再設定、設計変更対応とする。

[剥離剤を使用した塗料の剥離作業における労働災害防止について]国土交通省事務連絡を参考に、剥離剤は水系を推奨する。

図 6-10

配線図 S=1:300

2400 2400

第1区間
22280
100

第2区間
22280
100

第3区間
22280
100

第4区間
22280
100

第5区間
22280
100

A1 A2 P1 P2 P3 P4 AZ

G1 G2 G3

2400 2400

このこと。
遵守し

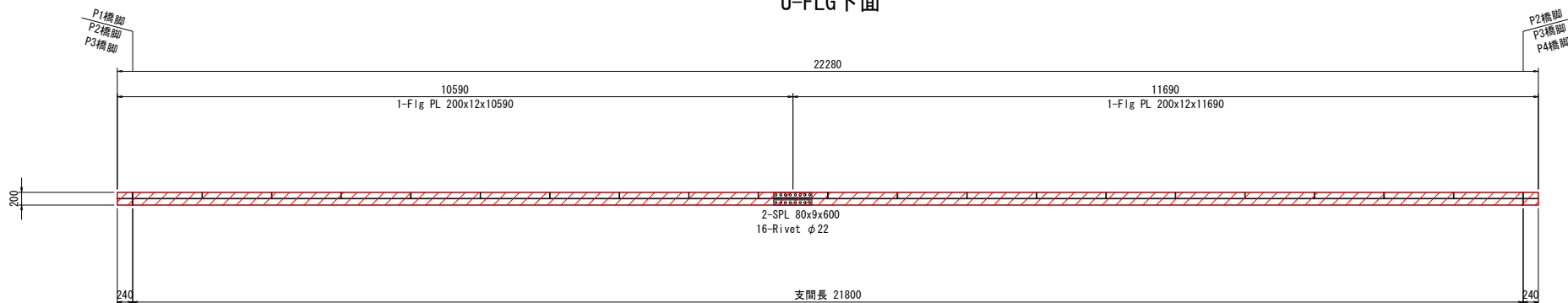
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事（第2工区）		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町網懸		
図 面 名	塗替塗装工詳細図（3/6）		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

塗 替 塗 装 工 詳 細 図 (4/6)

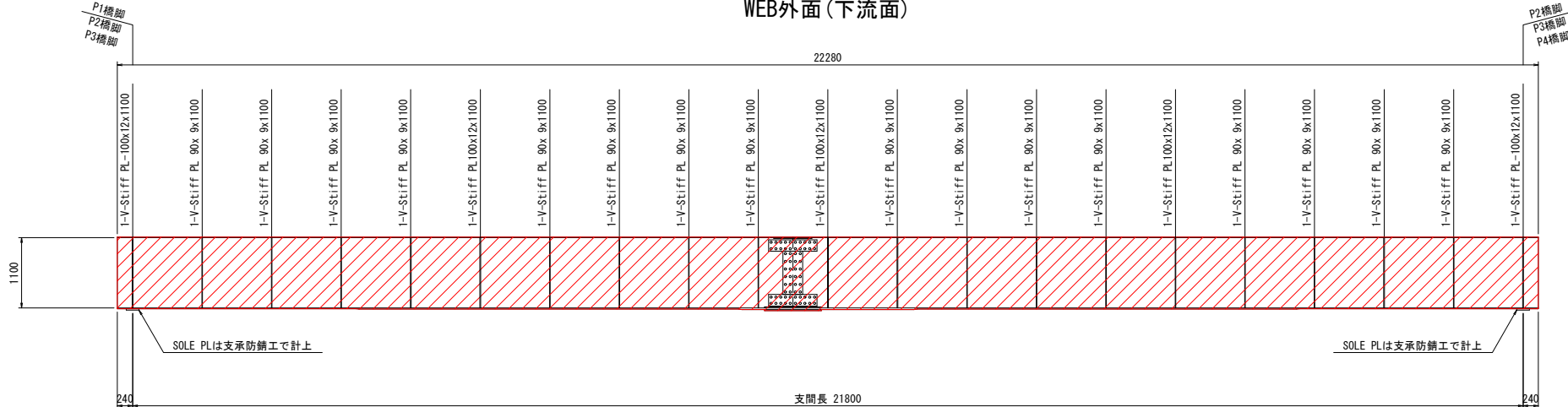
S=1:50

車道橋 第2, 3, 4径間 主桁G2桁

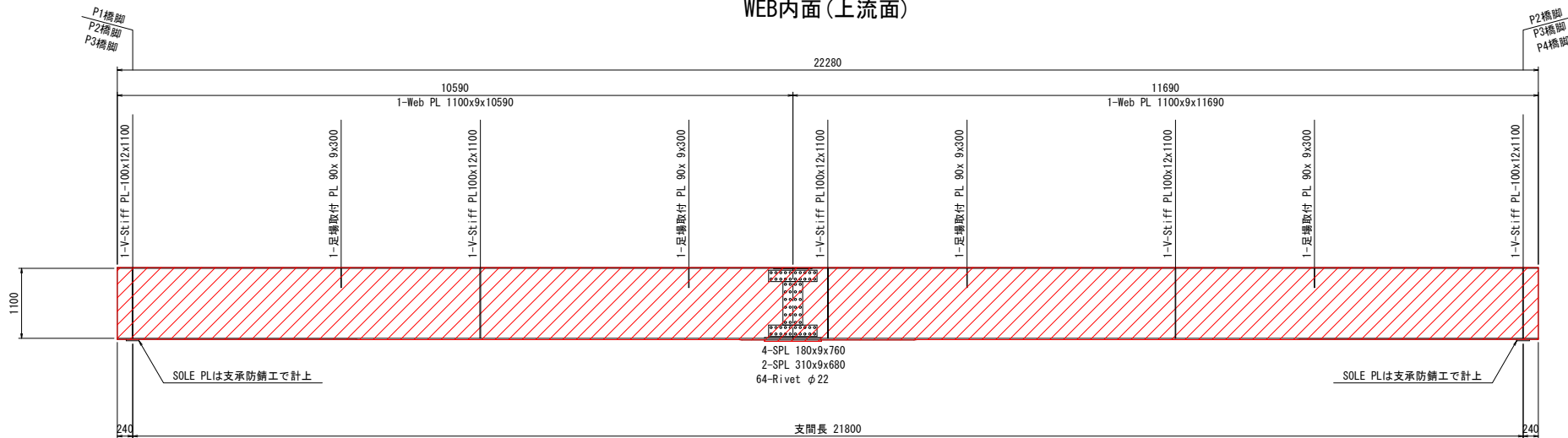
U-FLG下面



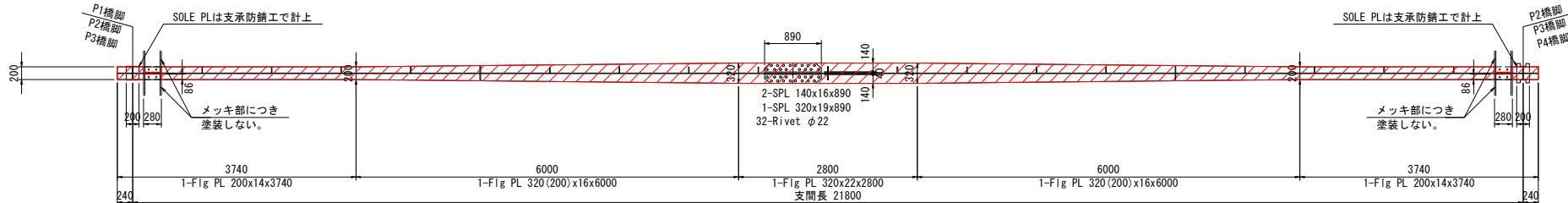
WEB外面(下流面)



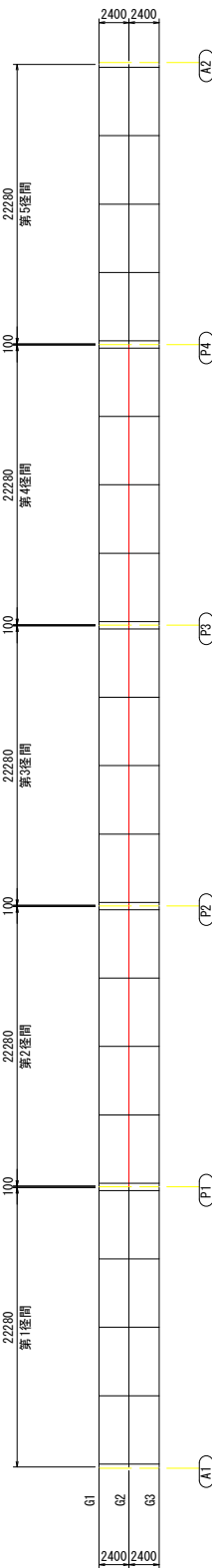
WEB内面(上流面)



L-FLG上面



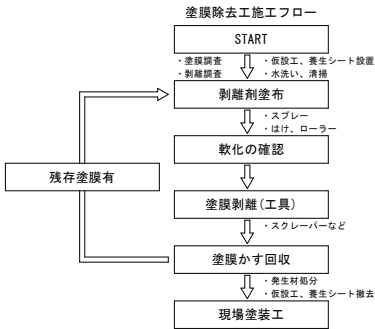
配置図 S=1:300



塗替塗装規格表 (Rc-I塗装系(スプレー※1))

名 称	規 格	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	塗膜除去工※4+I種※3	-	4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1~10日※2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1~10日
中塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1~10日
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1~10日

- ※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3: プラスト処理による除せい度はISO Sa 2 1/2とする。
※4: 主桁・横桁等の鋼部材は、PCB、鉛等の有害物質を含むため塗膜除去工法を施工する。
[注記]
1. 塗替え塗装に関しては、鋼道路橋防食便覧(H26年3月)に基づき、Rc-I塗装系を使用すること。
2. 素地調整は、塗膜除去工(塗膜剥離)及びI種ケレンで施工を実施する。
防じん対策等を実施した上で施工を実施すること。
3. 図中の寸法等は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。
4. 施工数量については、現地再確認を行った上、発注者の承諾を得て決定すること。
5. 施工前に監督員と協議を実施し彩色等の確認を行うこと。
6. 床版端部鋼板の一部に伸縮止水装置が設置されるため、4者協議(発注者、受注者、塗装業者、設計者)を実施し、施工手順や塗膜の処理方法等について決定すること。
7. 既存塗膜に低濃度PCB及び鉛が含まれているため、環境対策資機材及び安全衛生保護具を用いて安全衛生に留意し施工を行うこと。
8. 塗膜かすは、低濃度PCBが含まれているため、「PCB無害化処理認定施設」の資格を保有している処理業者で処理を行うこと。なお、徳島県内には上記資格を保有している処理業者が存在しておらず、他県への持ち出しとなるため、他県の条例を遵守し処理を行うこと。



塗膜除去歩掛は、塗装仕様、膜厚、施工時期により塗膜除去能率が大きく変わるため、当初から確定することは困難である。(設計時は推定) によって、設計図書条件を標準案とした事前の剥離試験を行い、現場条件に適した塗膜剥離剤の選定および剥離剤塗布回数(剥離回数)を再設定、設計変更対応とする。

[剥離剤を使用した塗料の剥離作業における労働災害防止について]国土交通省事務連絡を参考に、剥離剤は水系を推奨する。

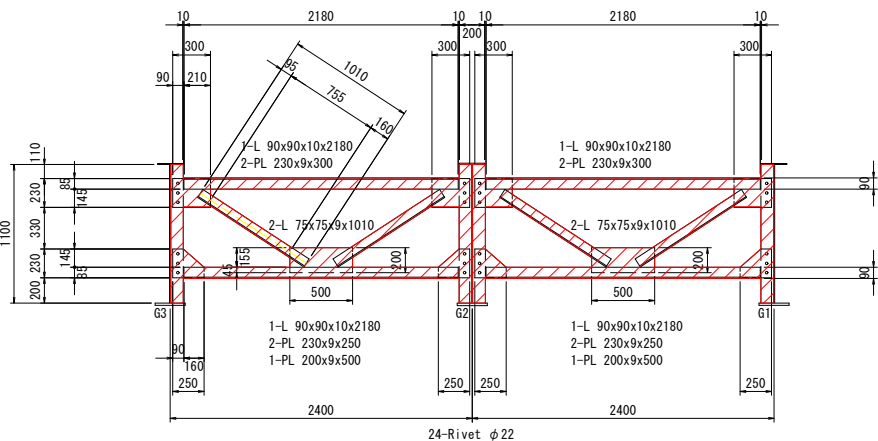
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事(第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図 面 名	塗替塗装工詳細図 (4/6)		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

塗替塗装工詳細図(5/6)

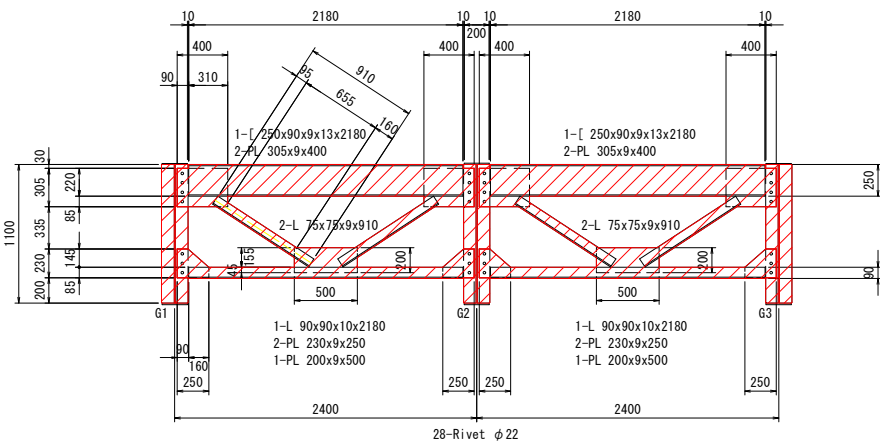
S=1:30

車道橋 全径間 横桁, 排水管, 伸縮継手

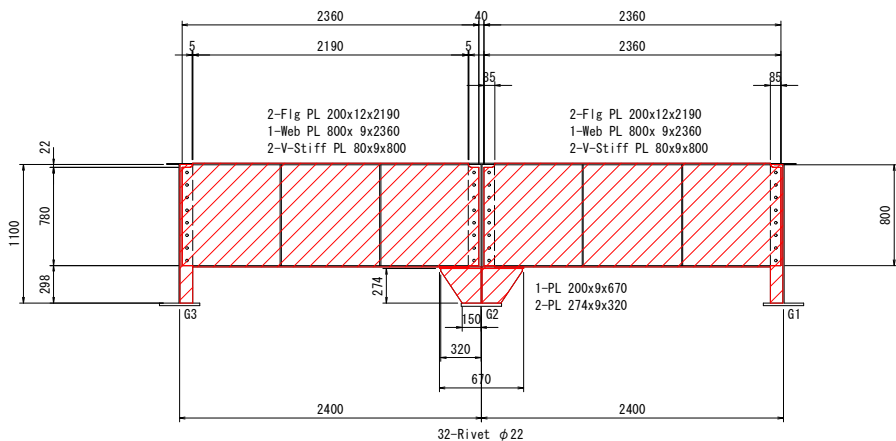
正面図
中間対傾構



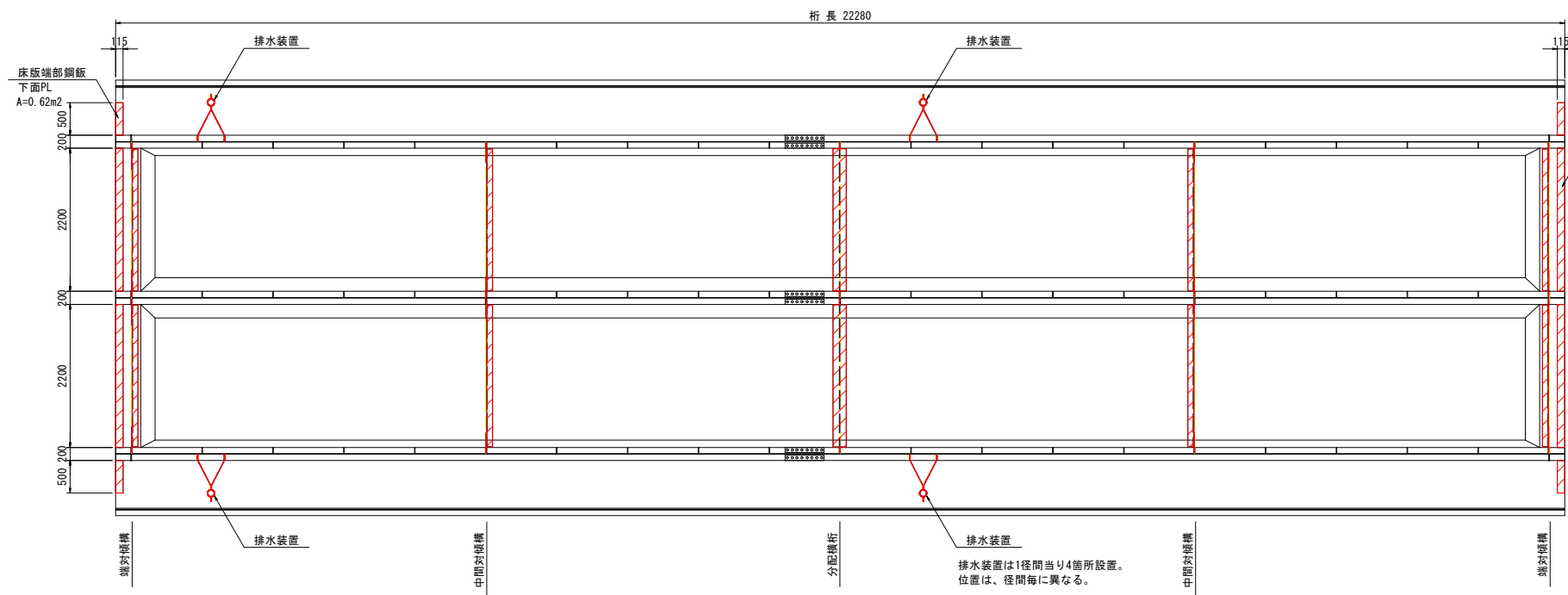
端対傾構



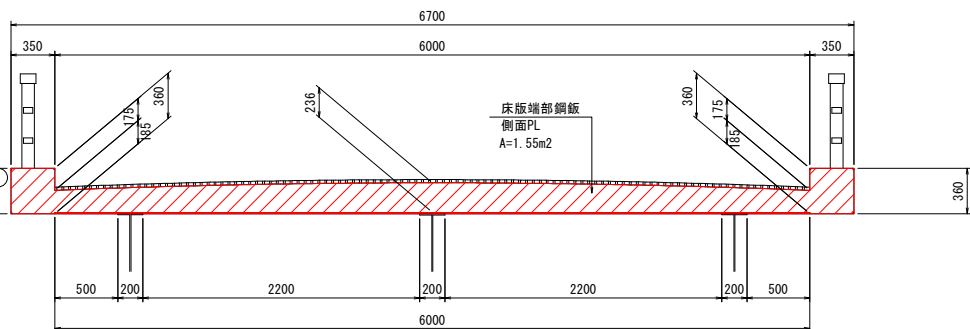
分配横桁



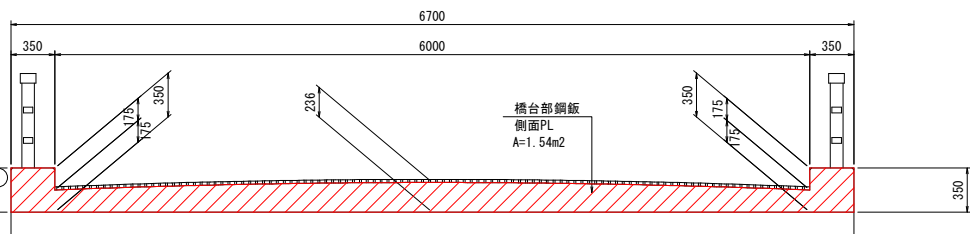
平面図 S=1:50



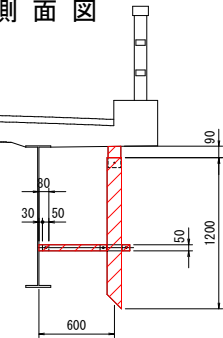
床版端部鋼板(橋脚部)



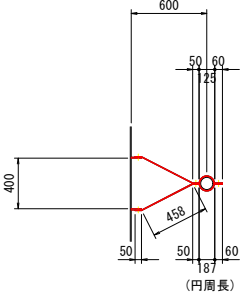
床版端部鋼板(橋台部)



側面図
排水装置



側面図



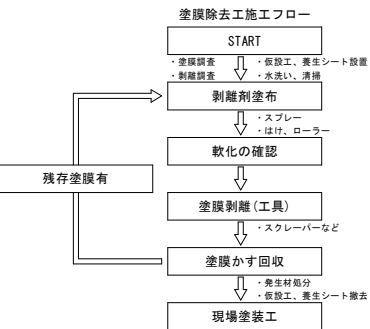
塗装面積集計(全径間当り)

部材名称	径間数	1径間当り数量	合計	備考
1. 5径間	2 径間	249. 95m2	499. 90m2	
2. 3, 4径間	3 径間	250. 34m2	751. 02m2	
合計			1250. 92m2	

塗替塗装規格表(Rc-I塗装系(スプレー※1))

名称	規格	使用量(g/m2)	塗装間隔
素地調整	塗膜除去工※4+1種※3	-	4時間以内
防食下地	有機ジnkリッチペイント	600	1~10日※2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1~10日

- ※1:原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3:プラスト処理による除せいでISO Sa 2 1/2とする。
※4:主桁・横桁等の鋼部材は、PCB、鉛等の有害物質を含むため塗膜除去工法を施工する。
- 注記)
1. 塗替え塗装に関しては、鋼道路橋防食便覧(H26年3月)に基づき、Rc-I塗装系を使用すること。
2. 素地調整は、塗膜除去工(塗膜剥離)及びI種ケレンで施工を実施する。
3. 防じん対策等を実施した上で施工を実施すること。
4. 図中の寸法等は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。
5. 施工数量については、現地再確認を行った上、発注者の承諾を得て決定すること。
6. 施工前に監督員と協議し彩色等の確認を行うこと。
7. 床版端部鋼板の一部に伸縮止水装置が設置されるため、4者協議(発注者、受注者、塗装業者、設計者)を実施し、施工手順や塗膜の処理方法等について決定すること。
8. 既存塗膜に低濃度PCB及び鉛が含有しているため、環境対策資材及び安全衛生保護具を用いて安全衛生に留意し施工を行うこと。
9. 塗膜かすは、低濃度PCBが含有しているため、「PCB無害化処理認定施設」の資格を保有している処理業者で処理を行うこと。なお、徳島県内には上記資格を保有している処理業者が存在しておらず、他県への持ち出しとなるため、他県の条例を遵守し処理を行うこと。



塗膜除去歩掛は、塗装仕様、膜厚、施工時期により塗膜除去能率が大きく変わるため、当初から確定することは困難である。(設計時は推定) によって、設計図書条件を標準案とした事前の剥離試験を行い、現場条件に適した塗膜剥離剤の選定および剥離剤塗布回数(剥離回数)を再設定、設計変更対応とする。

[剥離剤を使用した塗料の剥離作業における労働災害防止について]国土交通省事務連絡を参考に、剥離剤は水系を推奨する。

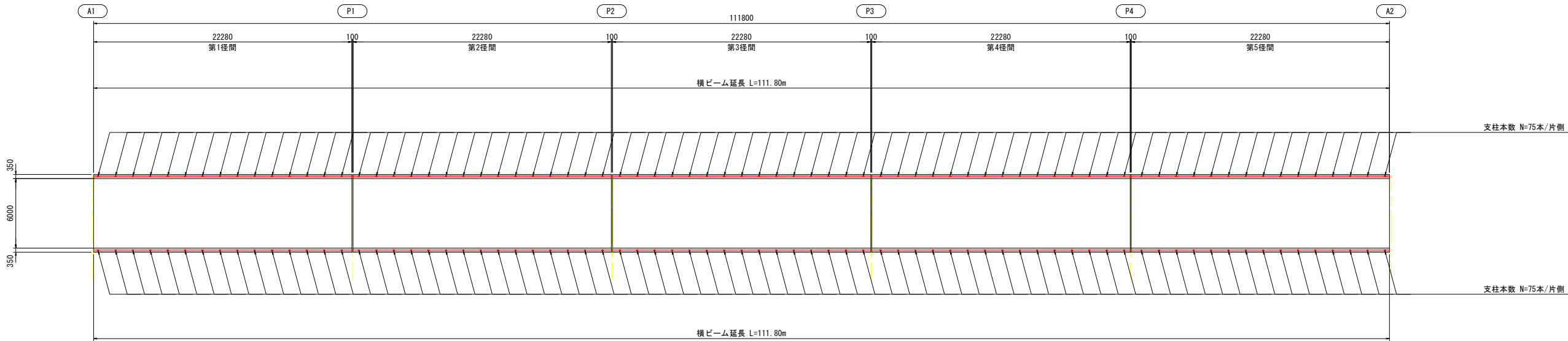
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事(第2工区)
路線名等	市道 中央東西線
工事箇所	阿波市阿波町網懸
図面名	塗替塗装工詳細図(5/6)
縮尺	図示
図面番号	6 / 24
会社名	株式会社 フジ建設コンサルタント
事業者名	徳島県阿波市

塗替塗装工詳細図 (6/6)

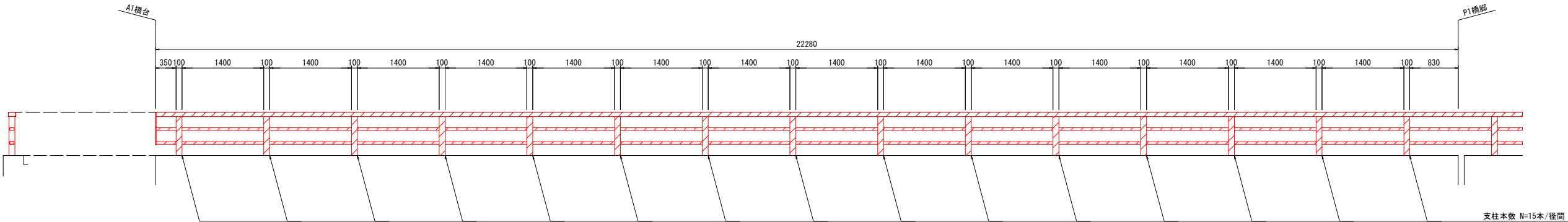
S=1:200

車道橋 全径間 防護柵

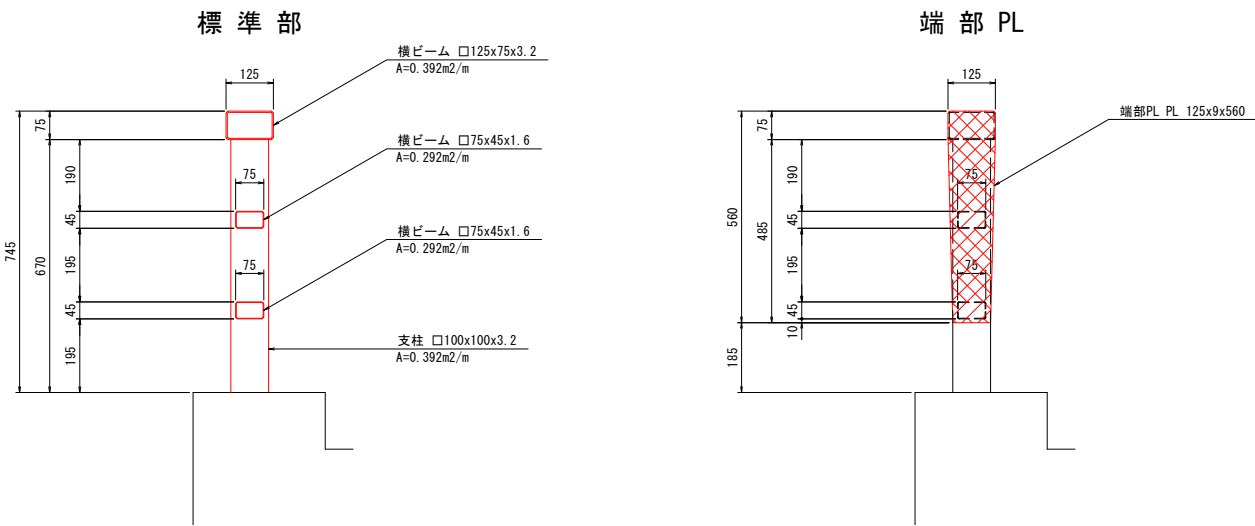
平面図



側面図 S=1:40



部材詳細図 S=1:10



塗装面積集計 (全径間当り)

部材名称	合計	備考
全径間	245.82m ²	
合計	245.82m ²	

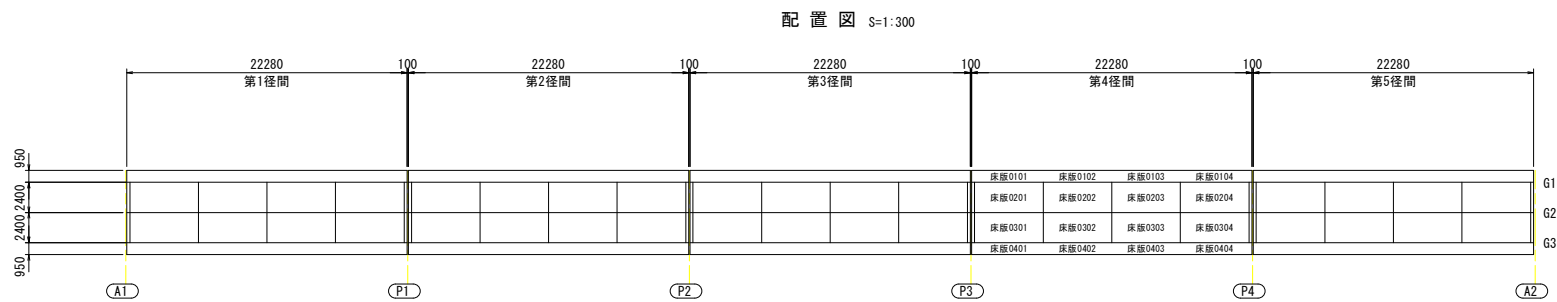
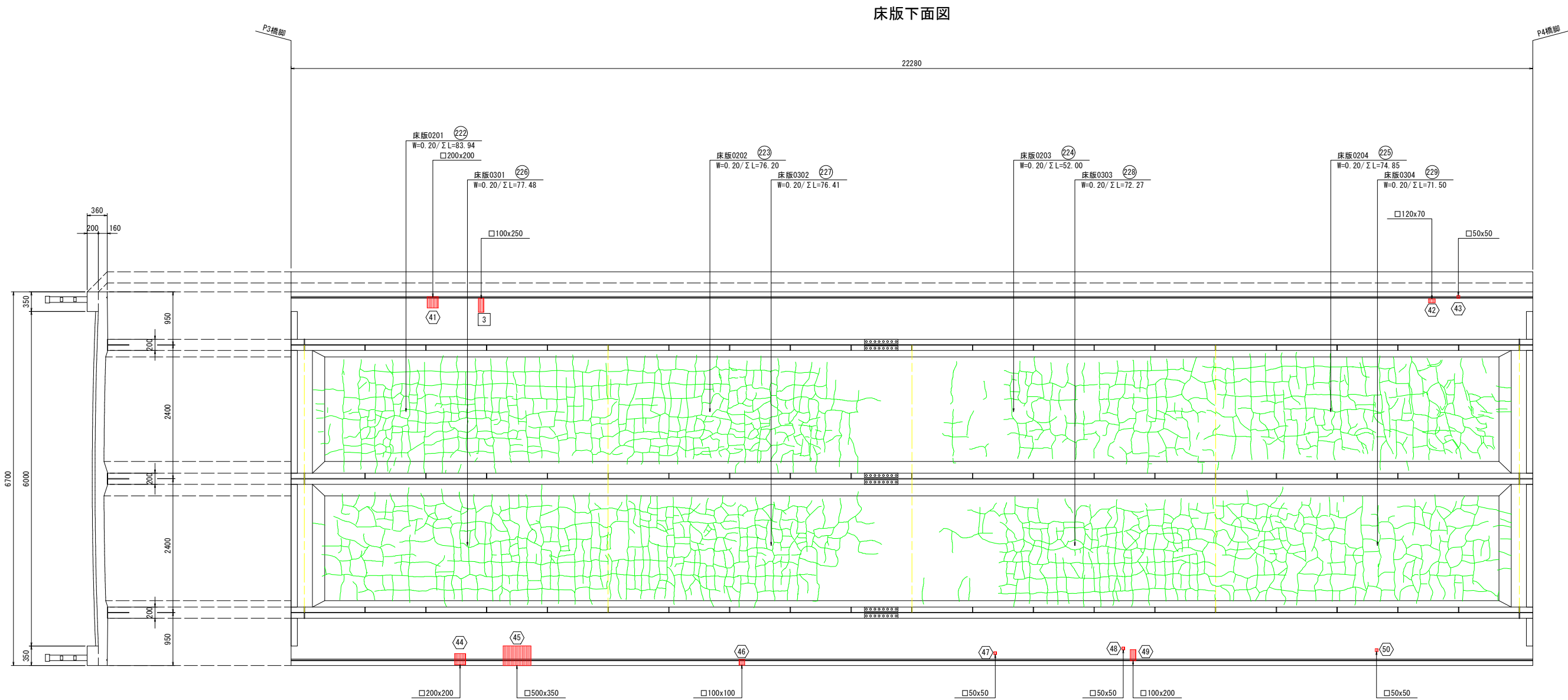
塗替塗装規格表 (Ra-III塗装系 (はけ, ローラー))

名 称	規 格	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	III種	-	4時間以内
下塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント (鋼鉄露出部のみ)	(140)	1~10日
下塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント	140	1~10日
中塗	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	120	1~10日
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	110	1~10日

- 注記)
- 塗替え塗装に関しては、鋼道路橋防食便覧 (H26年3月)に基づき、Ra-III塗装系を使用すること。
 - 図中の寸法等は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。
 - 施工数量については、現地再確認を行った上、発注者の承諾を得て決定すること。
 - 施工前に監督員と協議を実施し彩色等の確認を行うこと。

工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図 面 名	塗替塗装工詳細図 (6/6)		
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

床版工補修詳細図 (4/6) S=1:40
車道橋 第4径間

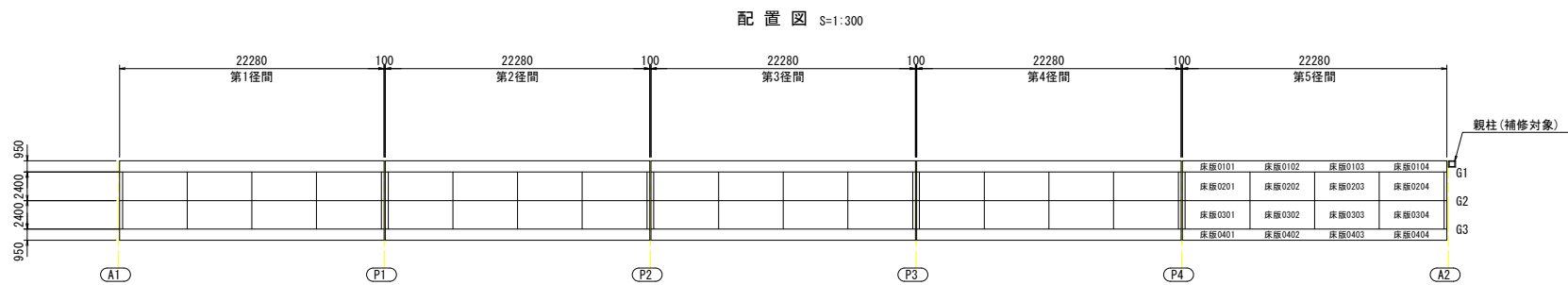
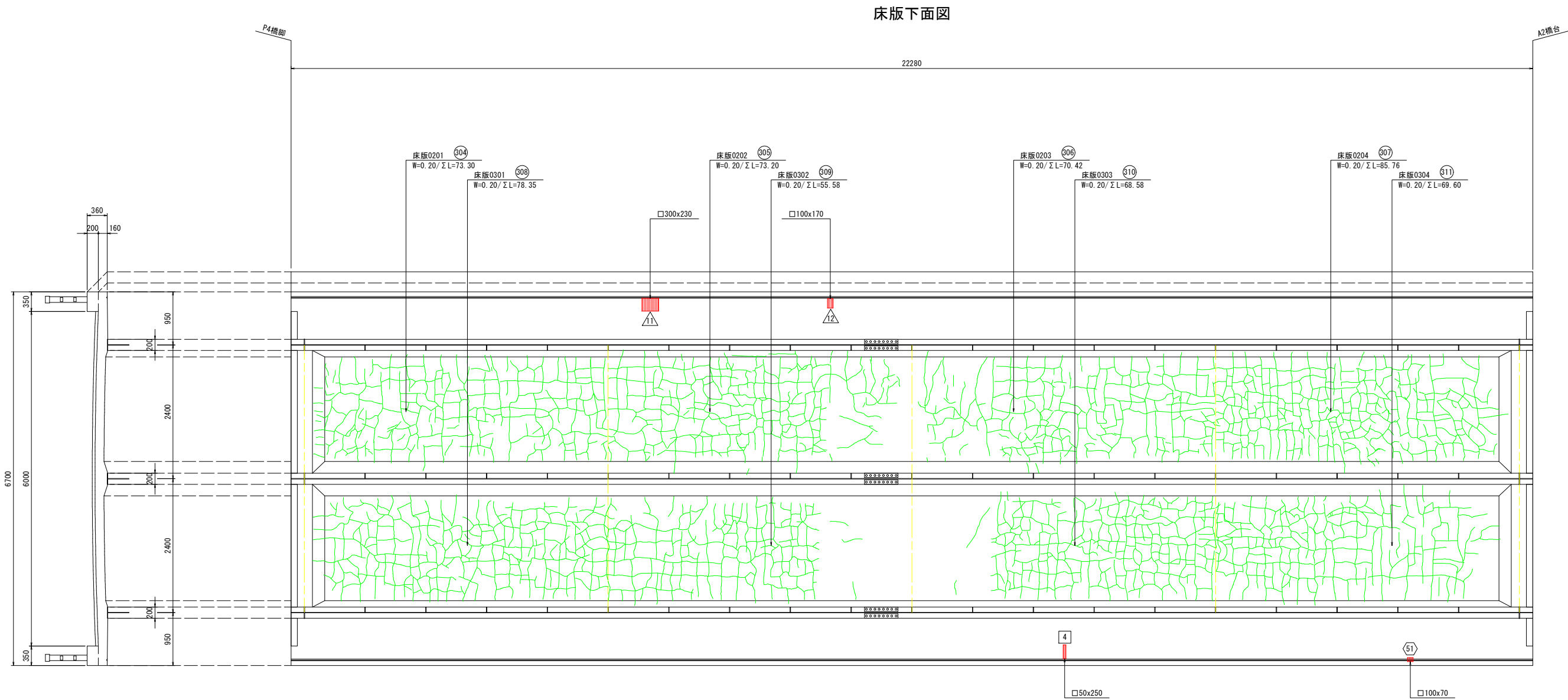


補修工法	断面修復厚	表示
ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	---	幅/長さ (mm) (m)
断面修復工 (左官工法) 防錆処理: 有	t=50mm	

各工法の補修厚さは、以下の事項を考慮して決定した。
・低圧注入工法：補修対象は、中間床版の内0.2mm以上のひび割れに適用した。
・左官工法：1段鉄筋の鉄筋裏まで t=50mm
図中の記号は、損傷調査時の番号と同一であり、補修図においては抜け番号がある。

工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町網懸		
図面名	床版工補修詳細図 (4/6)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

床版工補修詳細図 (5/6) S=1:40
車道橋 第5径間



補修凡例		
補修工法	断面修復厚	表示
ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	---	 幅/長さ (mm) (m)
断面修復工 (左官工法) 防錆処理: 有	t=50mm	

各工法の補修厚さは、以下の事項を考慮して決定した。
・低圧注入工法：補修対象は、中間床版の内0.2mm以上のひび割れに適用した。
・左官工法：1段鉄筋の鉄筋裏まで t=50mm
図中の記号は、損傷調査時の番号と同一であり、補修図においては抜け番号がある。

工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町網懸		
図面名	床版工補修詳細図 (5/6)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

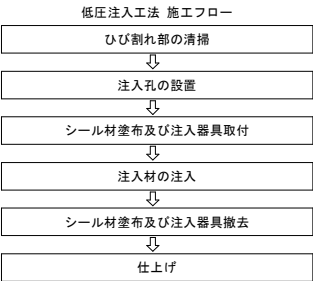
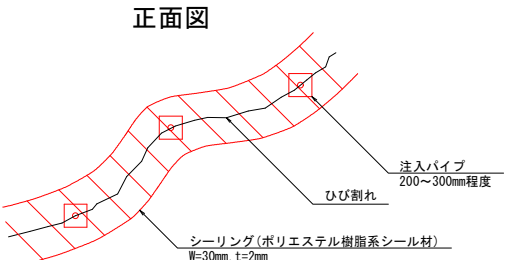
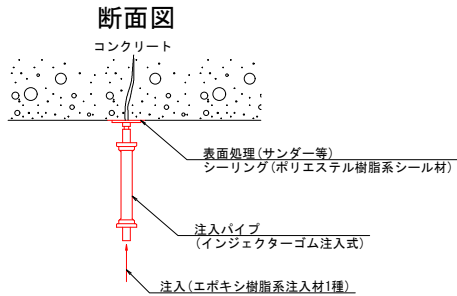
床版工補修詳細図 (6/6)

S=NS

車道橋

補修工法詳細図

ひび割れ注入工法



※ ひび割れ補修工
・ひび割れ補修工(低圧注入工法)対象は、0.2mm以上のひびわれに適用した。
・使用材料については、1例を示している。施工においては、ひび割れ注入に適した材料を選定し、監督員の承認を得ること。

ひびわれ注入工:低圧注入

部材No		W (mm)	L (m)	備考
1径間	床版02	床版0201	0.20	52.66
		床版0202	0.20	46.17
		床版0203	0.20	30.43
		床版0204	0.20	33.25
	床版03	床版0301	0.20	55.56
		床版0302	0.20	52.00
		床版0303	0.20	37.76
		床版0304	0.20	48.75
小 計			356.58	
部材No		W (mm)	L (m)	備考
2径間	床版02	床版0201	0.20	35.28
		床版0202	0.20	27.67
		床版0203	0.20	35.99
		床版0204	0.20	39.77
	床版03	床版0301	0.20	58.92
		床版0302	0.20	46.95
		床版0303	0.20	54.21
		床版0304	0.20	52.32
小 計			351.11	
部材No		W (mm)	L (m)	備考
3径間	床版02	床版0201	0.20	61.16
		床版0202	0.20	49.70
		床版0203	0.20	48.45
		床版0204	0.20	61.35
	床版03	床版0301	0.20	74.52
		床版0302	0.20	70.60
		床版0303	0.20	61.53
		床版0304	0.20	71.81
小 計			499.12	

部材No		W(mm)	L(m)	備考
4径間	床版02	床版0201	0.20	83.94
		床版0202	0.20	76.20
		床版0203	0.20	52.00
		床版0204	0.20	74.85
	床版03	床版0301	0.20	77.48
		床版0302	0.20	76.41
		床版0303	0.20	72.27
		床版0304	0.20	71.50
小 計			584.65	
部材No		W(mm)	L(m)	備考
5径間	床版02	床版0201	0.20	73.30
		床版0202	0.20	73.20
		床版0203	0.20	70.42
		床版0204	0.20	85.76
	床版03	床版0301	0.20	78.35
		床版0302	0.20	55.58
		床版0303	0.20	68.58
		床版0304	0.20	69.60
小 計			574.79	
合 計			2366.25	

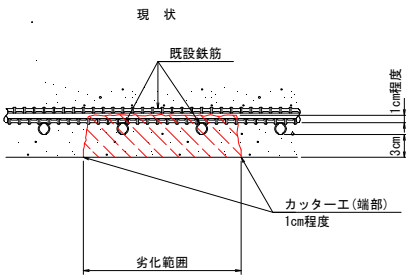
ひびわれ注入工集計表

W =	0.20 mm	L =	2366.25 m
-----	---------	-----	-----------

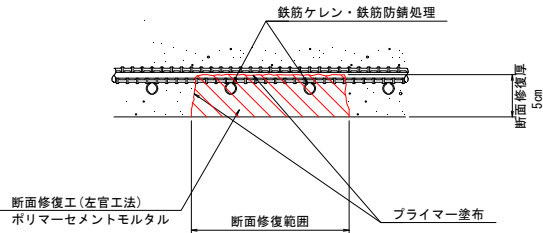
補修工法詳細図

断面修復工(左官工法)

既設コンクリート断面欠損部



補修要領



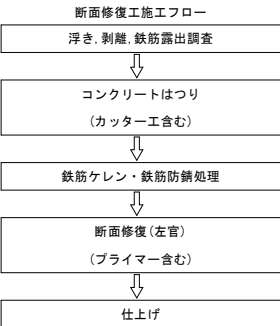
注記

- ・断面修復工端部にはカッター切りを行い、フェザーエッジとしない様にする。
- ・プライマー塗布前には、塵埃の除去を行う。
- ・鉄筋が腐食している場合は鉄筋の裏側まではつりケレンすること。
- ・断面修復材は、ポリマーセメントモルタルとし、空隙を作らないように施工すること。
- ・断面修復深さは、最外縁鉄筋裏までとしt=5cmとした。交差鉄筋が腐食している場合は発注者の承認を得て、断面修復深さを変更すること。

径間名	部材番号	数量	単位	適用
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有				
1径間	床版01	0.031	m2	
	床版02	-	m2	
	床版03	-	m2	
	床版04	0.170	m2	
2径間	床版01	0.111	m2	
	床版02	0.005	m2	
	床版03	0.013	m2	
	床版04	0.067	m2	
3径間	床版01	0.200	m2	
	床版02	0.080	m2	
	床版03	0.013	m2	
	床版04	0.171	m2	
4径間	床版01	0.076	m2	
	床版02	-	m2	
	床版03	-	m2	
	床版04	0.254	m2	
5径間	床版01	0.086	m2	
	床版02	-	m2	
	床版03	-	m2	
	床版04	0.020	m2	
合 計		1.297	m2	

断面修復工集計表

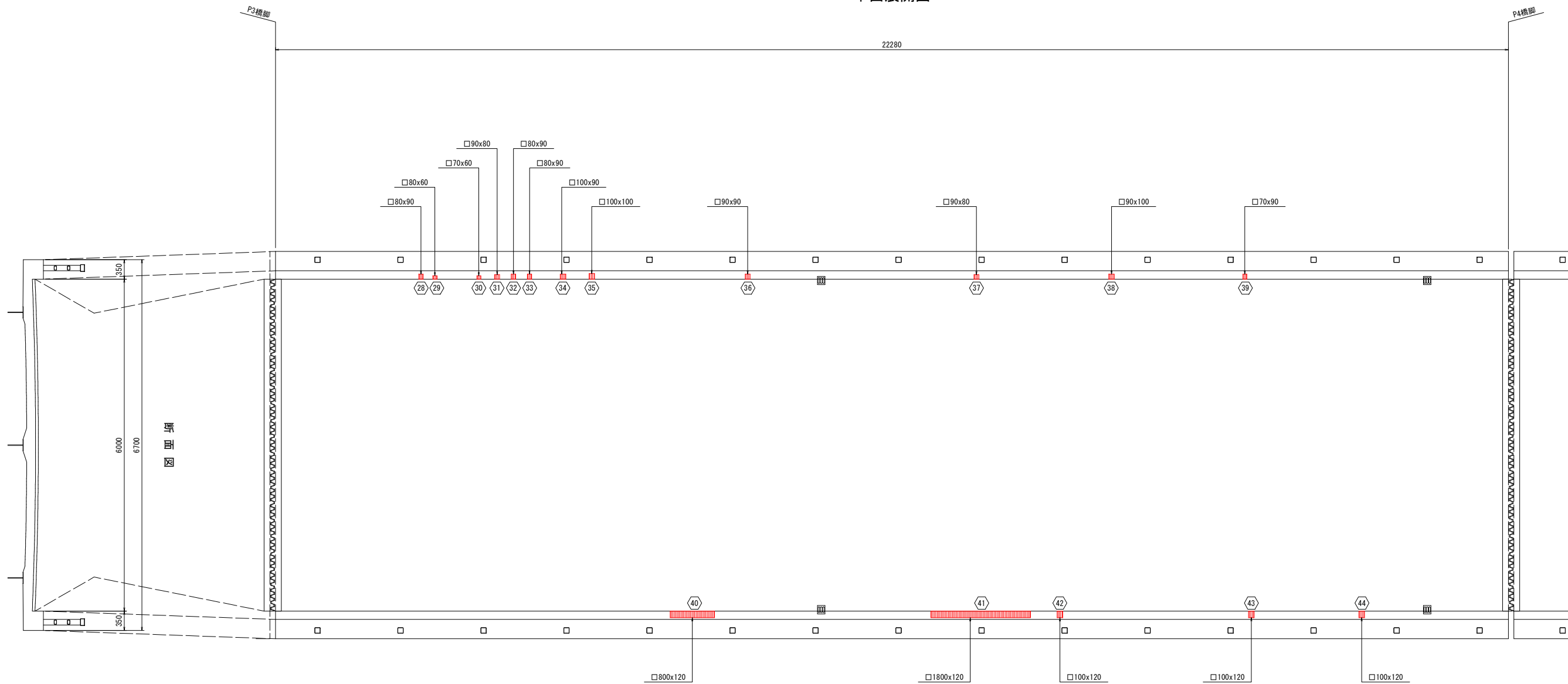
V =	0.065 m3 (設計数量)
-----	-----------------



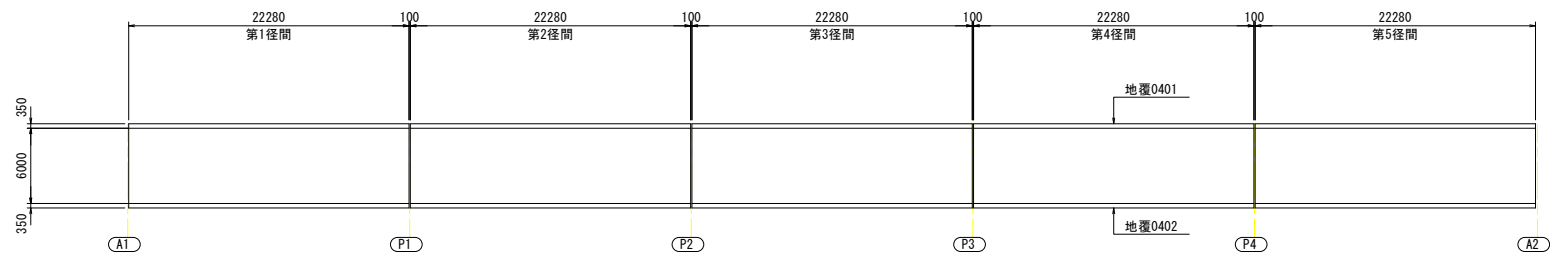
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町網懸		
図 面 名	床版工補修詳細図 (6/6)		
縮 尺	図 示	図面番号	10 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

地覆・親柱工補修詳細図 (4/6) S=1:40
車道橋 第4径間

平面展開図



配置図 S=1:300



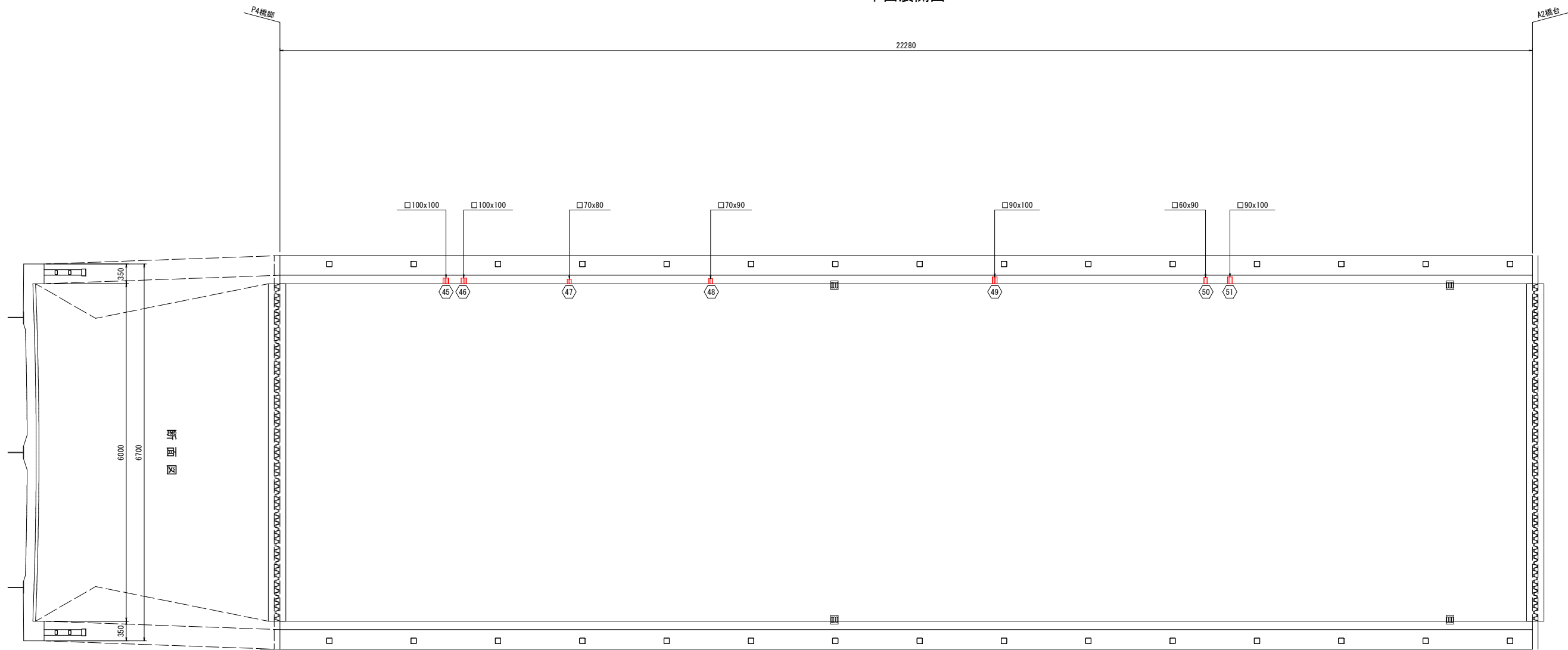
補修工法	断面修復厚	表示
ひび割れ補修工(低圧注入工法)	---	幅/長さ (mm) (m)
断面修復工(左官工法)防錆処理:有	t=50mm	

各工法の補修厚さは、以下の事項を考慮して決定した。
・低圧注入工法：補修対象は、0.3mm以上のひび割れに適用した。
・左官工法：1段鉄筋の鉄筋表まで t=50mm
図中の記号は、損傷調査時の番号と同一であり、補修図においては抜け番号がある。

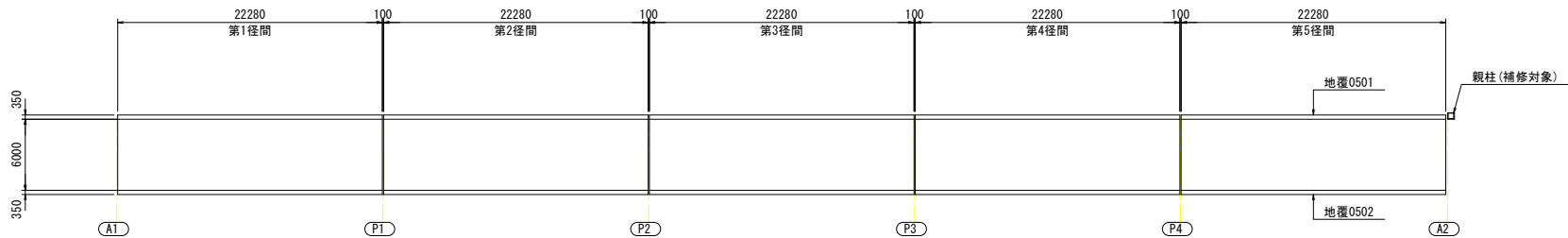
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事（第2工区）		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町網懸		
図面名	地覆・親柱工補修詳細図（4/6）		
縮尺	図示	図面番号	11 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

地 覆・親 柱 工 補 修 詳 細 図 (5/6) S=1:40
車道橋 第5径間

平面展開図



配置図 S=1:300

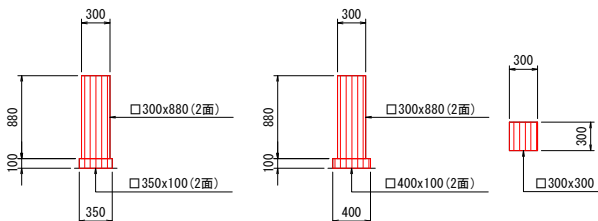


断面修復工 (A2橋台)

正面図

側面図

平面図



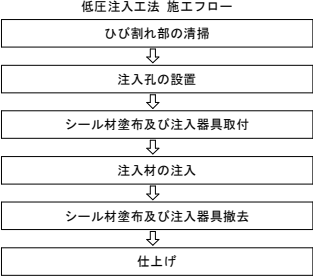
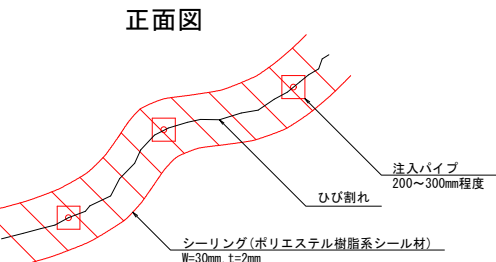
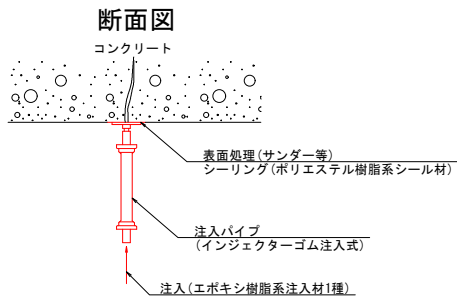
補修凡例		表示
補修工法	断面修復厚	
ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	----	幅/長さ (mm) (m)
断面修復工 (左官工法) 防錆処理: 有	t=50mm	

各工法の補修厚さは、以下の事項を考慮して決定した。
・低圧注入工法：補修対象は、0.3mm以上のひび割れに適用した。
・左官工法：1段鉄筋の鉄筋裏まで t=50mm
図中の記号は、損傷調査時の番号と同一であり、補修図においては抜け番号がある。

工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町網懸		
図 面 名	地覆・親柱工補修詳細図 (5/6)		
縮 尺	図 示	図面番号	12 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

地 覆・親 柱 工 補 修 詳 細 図 (6/6) S=NS
車道橋

補修工法詳細図
ひび割れ注入工法



※ ひび割れ補修工
・ひび割れ補修工(低圧注入工法)対象は、0.3mm以上のひびわれに適用した。
・使用材料については、1例を示している。施工においては、ひび割れ注入に
適した材料を選定し、監督員の承認を得ること。

ひびわれ注入工：低圧注入

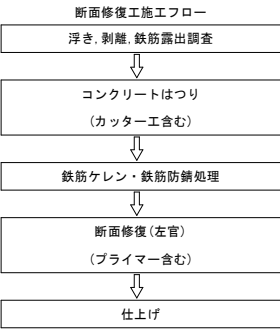
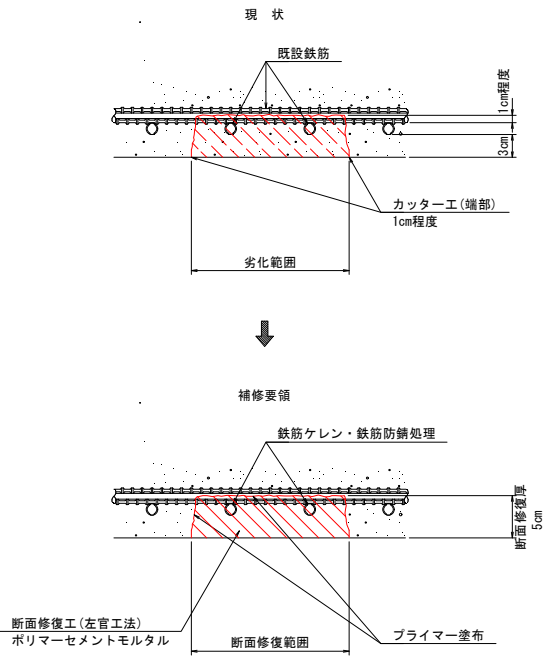
部材No	W (mm)	L (m)	備考
1径間 地覆	0.30	0.15	
	小計	0.15	
2径間 地覆	0.30	1.45	
	小計	1.45	
3径間 地覆	0.60	0.30	
	0.50	0.20	
	小計	0.50	
	合計	2.10	

ひびわれ注入工集計表

W = 0.60 mm	L = 0.30 m
W = 0.50 mm	L = 0.20 m
W = 0.30 mm	L = 1.60 m
合 計	L = 2.10 m

補修工法詳細図

断面修復工 (左官工法)
既設コンクリート断面欠損部



注記
・断面修復工端部にはカッター切りを行い、フェザーエッジとしない様にする。
・プライマー塗布前には、塵埃の除去を行うこと。
・鉄筋が腐食している場合は鉄筋の裏側まではつりケレンすること。
・断面修復材は、ポリアセメントモルタルとし、空隙を作らないように施工すること。
・断面修復深さは、最外縁鉄筋裏までとしt=5cmとした。交差鉄筋が腐食している場合は発注者の承認を得て、断面修復深さを変更すること。

径間名	部材番号	数量	単位	適用
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有				
1径間	地覆01	0.798	m2	
2径間	地覆02	0.717	m2	
3径間	地覆03	0.235	m2	
4径間	地覆04	0.434	m2	
	地覆05	0.055	m2	
5径間	親柱	1.296	m2	
合 計		3.535	m2	

断面修復工集計表

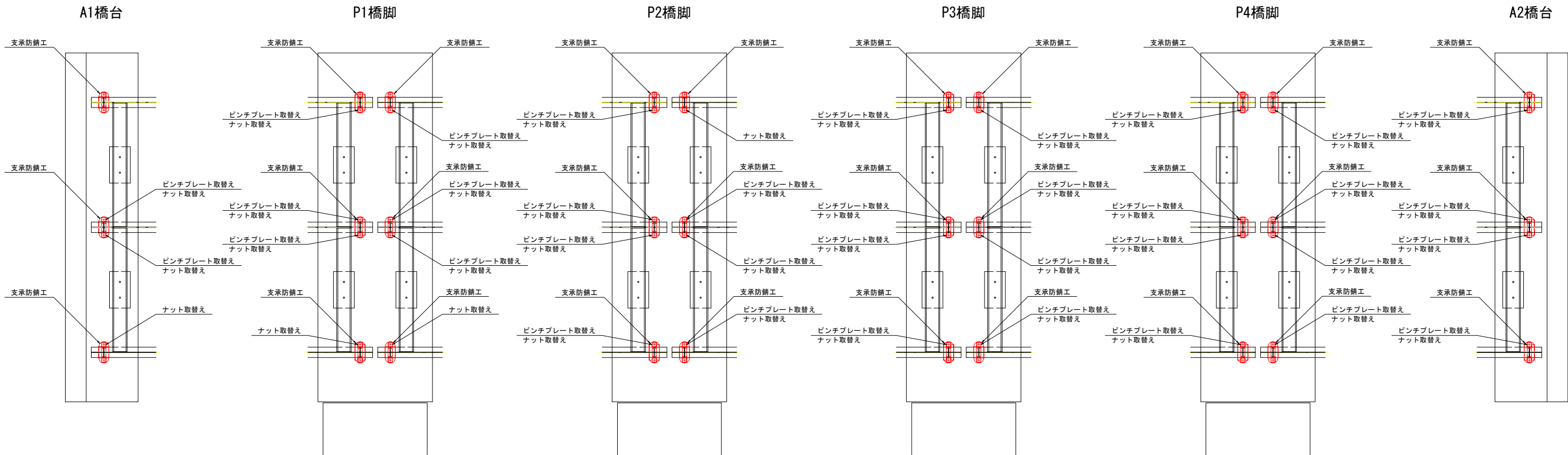
V = 0.177 m3 (設計数量)

工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図 面 名	地覆・親柱工補修詳細図 (6/6)		
縮 尺	図 示	図面番号	13 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

支 承 工 補 修 図 S=1:40

車 道 橋

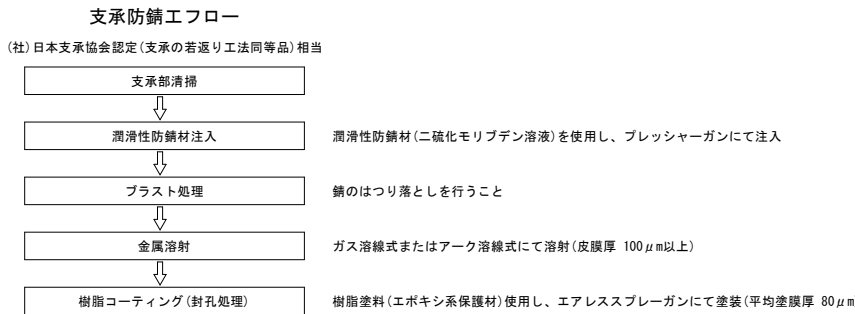
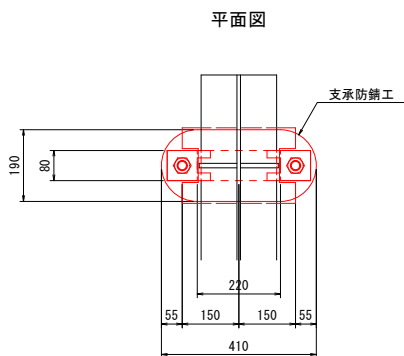
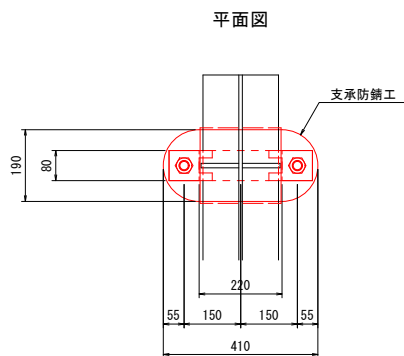
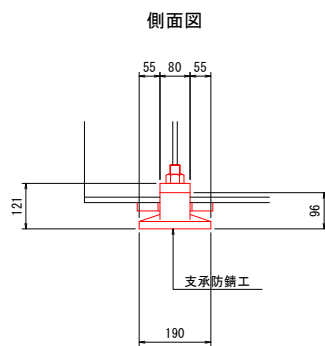
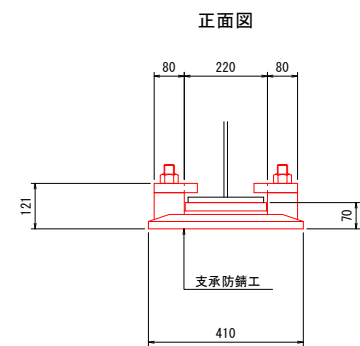
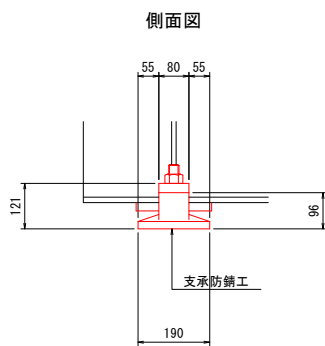
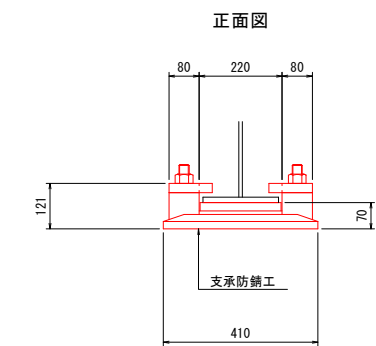
平 面 図



支 承 防 錆 詳 細 図 S=1:10

可動支承
線支承 (S-45型脊)

固定支承
線支承 (S-45型脊)

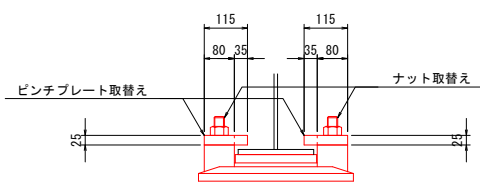


部 材 等	数 量
1～5径間支承全箇所	30 基
合 計	30 基

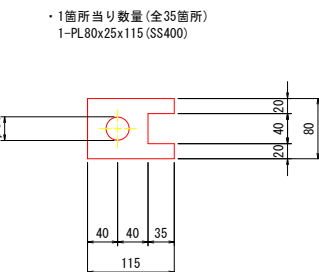
注記
・表記の工法は1例であり製品を指定するものではない。

部 材 取 替 え 工 詳 細 図 S=1:10

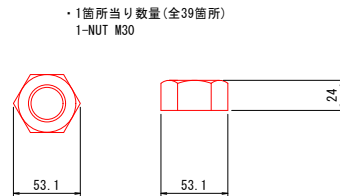
部材取付図
正面図



ピンチプレート詳細図 S=1:5



ナット詳細図 S=1:3

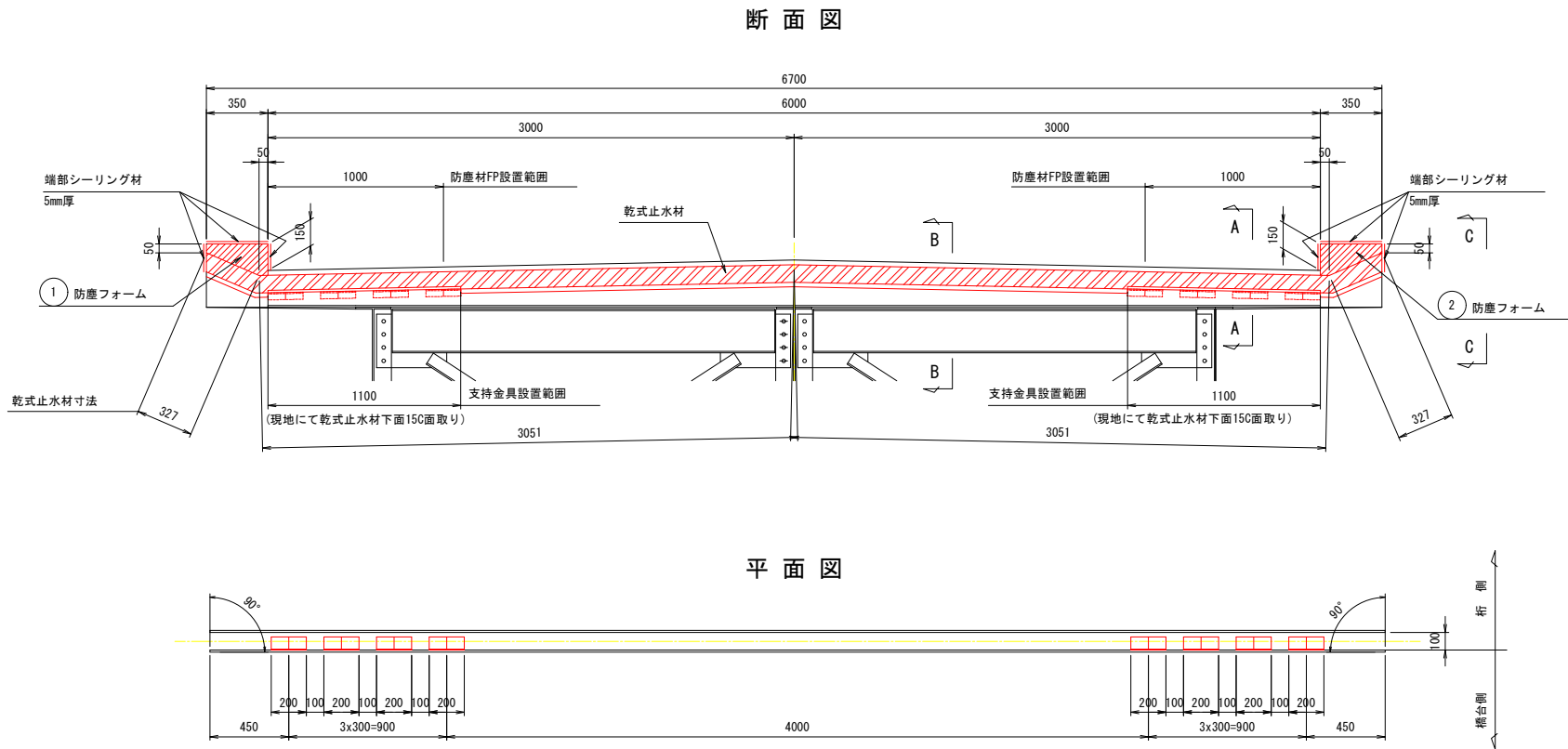


注記
・ピンチプレート、ナットの取替えは支承防錆工前に実施すること。
プラスト後ではナットの取替えが困難となる。
腐食が著しく交換が困難となる場合は、発注者と協議を実施すること。

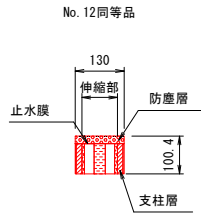
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)
路線名等	市道 中央東西線
工事箇所	阿波市阿波町網懸
図 面 名	支承工補修図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	14 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント
事業者名	徳島県阿波市

伸縮装置工補修図 (1/2) S=1:20

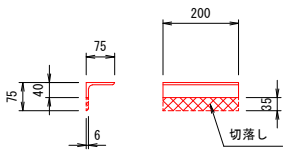
車道橋 A1, A2橋台 止水装置追加



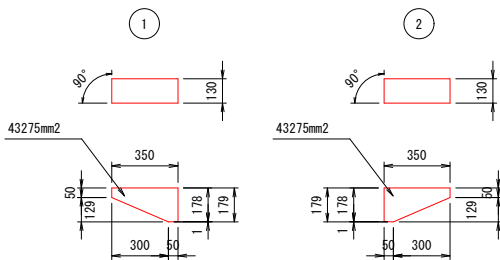
乾式止水材 S=1:10



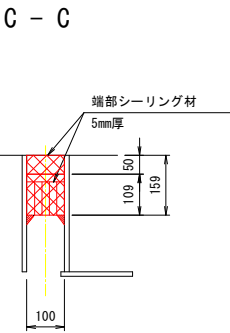
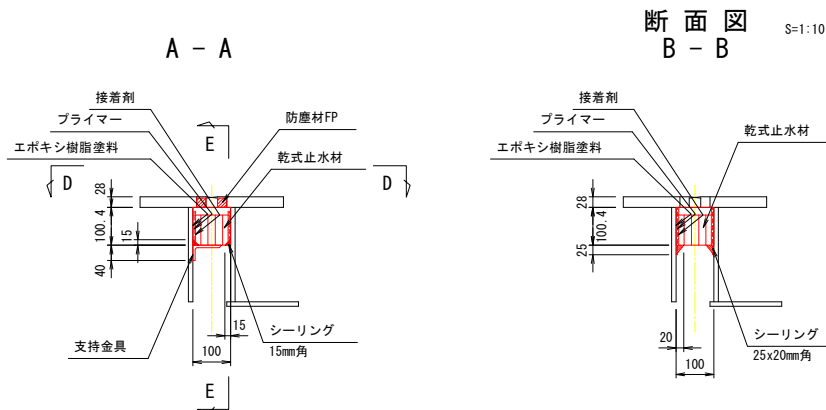
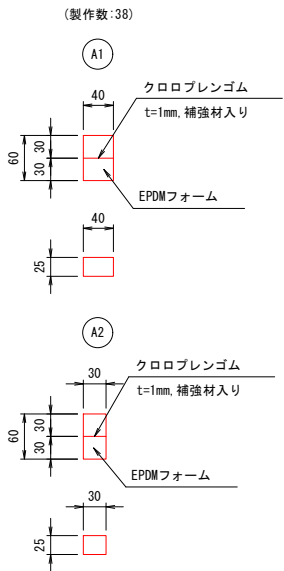
支持金具詳細図 S=1:10



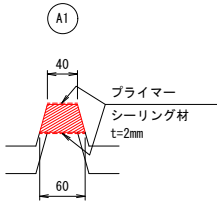
防塵フォーム詳細図 S=1:10



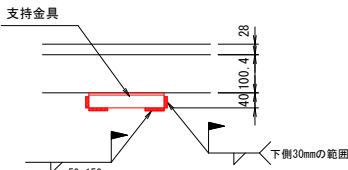
防塵材FP詳細図 S=1:5



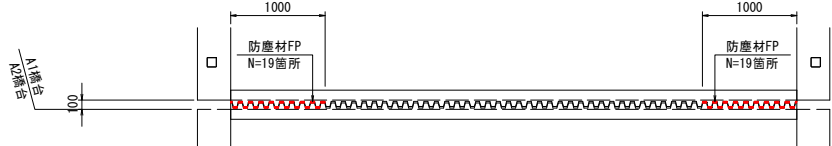
断面図 D-D S=1:5



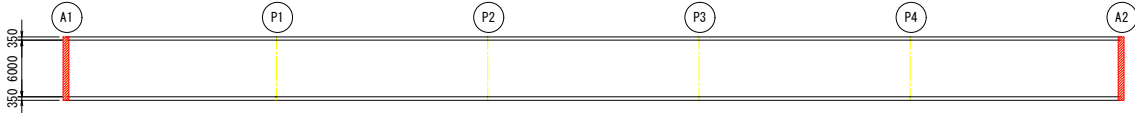
断面図 E-E



平面図 S=1:40



配置図 S=1:400



数量表

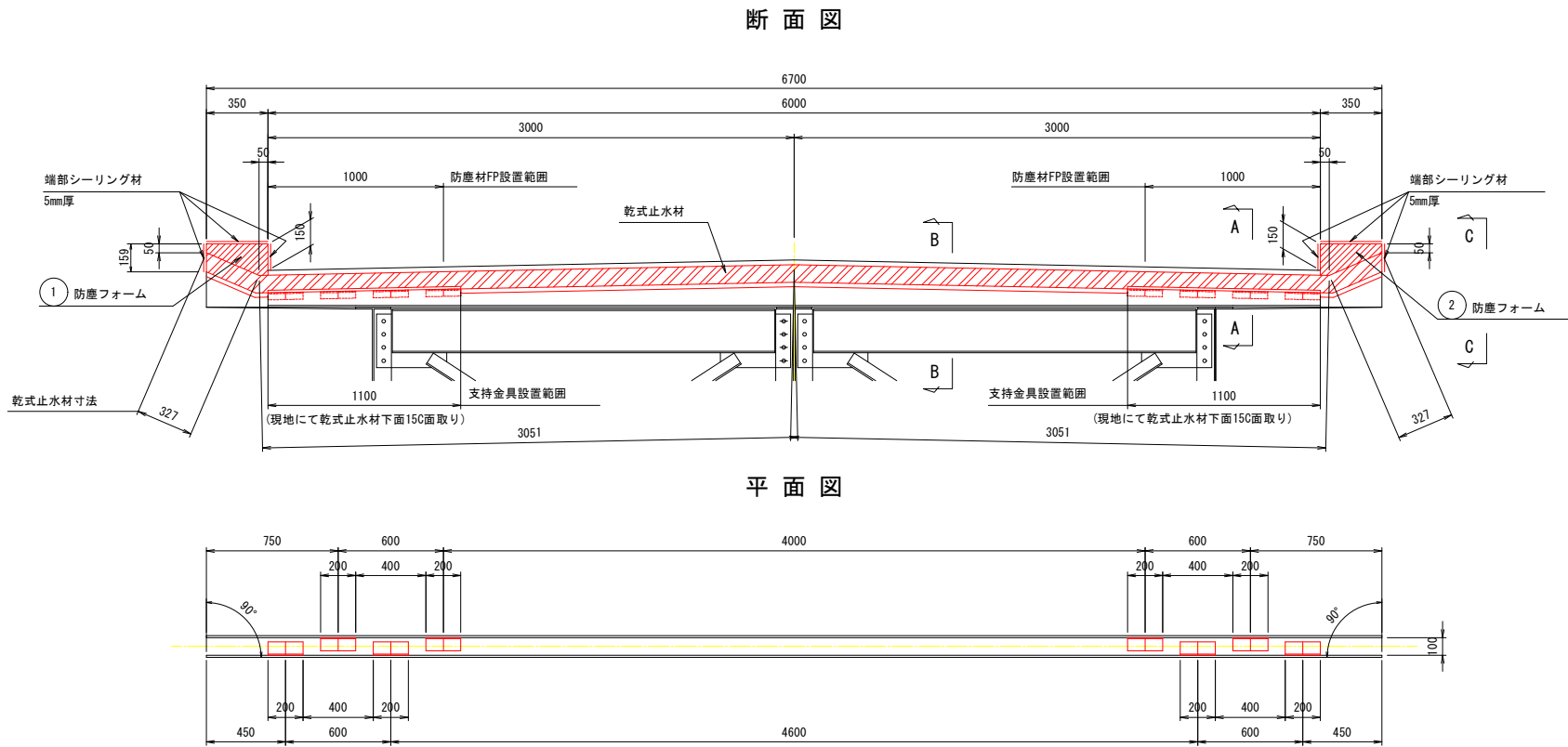
品名	仕様	単位	A1	A2	備考
乾式止水材 (バリアレックス-M同等品)	No. 12	m	6.756	6.756	
防塵フォームPE	ポリエチレンフォーム	L	11.252	11.252	
エポキシ樹脂塗料	エポキシ系	kg	0.527	0.527	
プライマー	シリコン系D3	kg	0.088	0.088	
接着剤	シリコン系	kg	1.317	1.317	
シーリング材	シリコン系	L	2.773	2.773	
端部シーリング材マスター300LS	シリコン系	L	0.659	0.659	
支持金具	L75x40x6x200, SS400	個	8	8	溶融亜鉛メッキ
防塵材FP	EPDMフォーム	L	2.280	1.710	難燃性
防塵材プライマー	シリコン系D3	kg	0.005	0.005	
防塵材FP用シーリング材	シリコン系	L	0.190	0.182	

- 現地調査を行い、図面寸法と照合を行うこと。
- 既設止水材撤去後、リブ、通行管等がない確認すること。
- 上記調査結果より、必要場合は設計変更すること。
- 表記の同等品は1例であり製品を指定するものではない。
- 床版端部鋼板の塗装については4者協議を実施し、作業工程を決定すること。

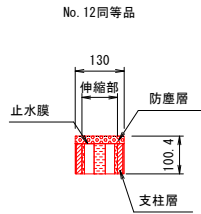
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町網懸		
図面名	伸縮装置工補修図 (1/2)		
縮尺	図示	図面番号	15 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

伸縮装置工補修図 (2/2) S=1:20

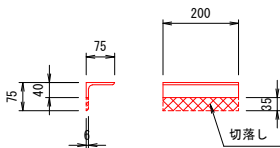
車道橋 P1~P4橋脚 止水装置追加



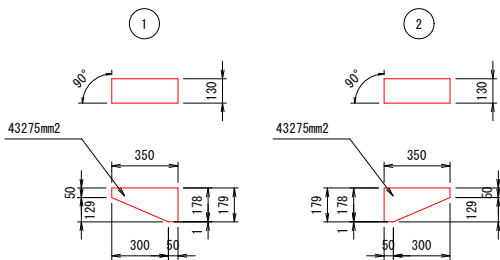
乾式止水材 S=1:10



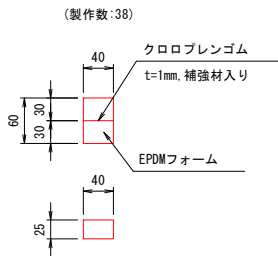
支持金具詳細図 S=1:10



防塵フォーム詳細図 S=1:10



防塵材FP詳細図 S=1:5

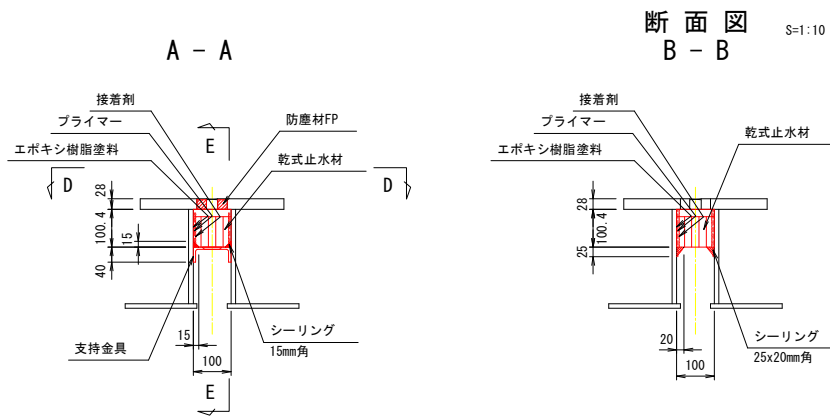
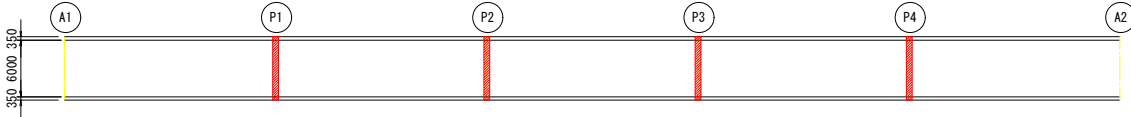


数量表

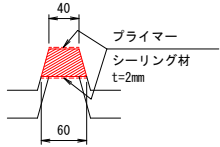
品名	仕様	単位	P1	P2	P3	P4	備考
乾式止水材(バリアレックス-M同等品)	No. 12	m	6.756	6.756	6.756	6.756	
防塵フォームPE	ポリエチレンフォーム	L	11.252	11.252	11.252	11.252	
エポキシ樹脂塗料	エポキシ系	kg	0.527	0.527	0.527	0.527	
プライマー	シリコン系D3	kg	0.088	0.088	0.088	0.088	
接着剤	シリコン系	kg	1.317	1.317	1.317	1.317	
シーリング材	シリコン系	L	2.773	2.773	2.773	2.773	
端部シーリング材マスター300LS	シリコン系	L	0.659	0.659	0.659	0.659	
支持金具	L75x40x6x200, SS400	ヶ	8	8	8	8	溶融亜鉛メッキ
防塵材FP	EPDMフォーム	L	2.280	2.280	2.280	2.280	難燃性
防塵材プライマー	シリコン系D3	kg	0.005	0.005	0.005	0.005	
防塵材FP用シーリング材	シリコン系	L	0.190	0.190	0.190	0.190	

- 現地調査を行い、図面寸法と照合を行うこと。
- 既設止水材撤去後、リブ、通行管等がないか確認すること。
- 上記調査結果より、必要な場合は設計変更すること。
- 表記の同等品は1例であり製品を指定するものではない。
- 床版端部鋼板の塗装については4者協議を実施し、作業工程を決定すること。

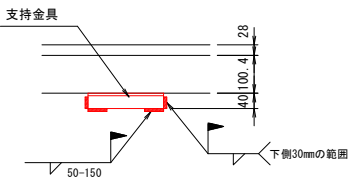
配置図 S=1:400



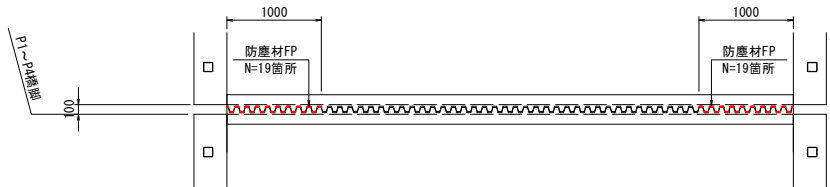
断面図 D-D S=1:5



断面図 E-E



平面図 S=1:40

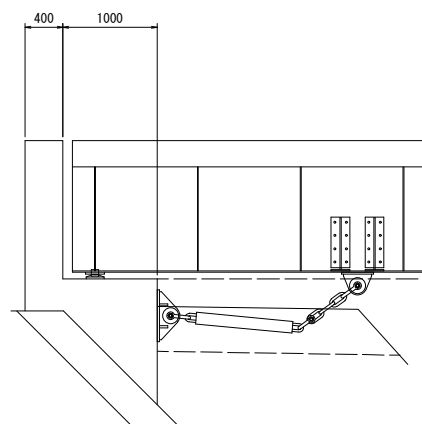


工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事(第2工区)
路線名等	市道 中央東西線
工事箇所	阿波市阿波町網懸
図面名	伸縮装置工補修図 (2/2)
縮尺	図示 図面番号 16 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント
事業者名	徳島県阿波市

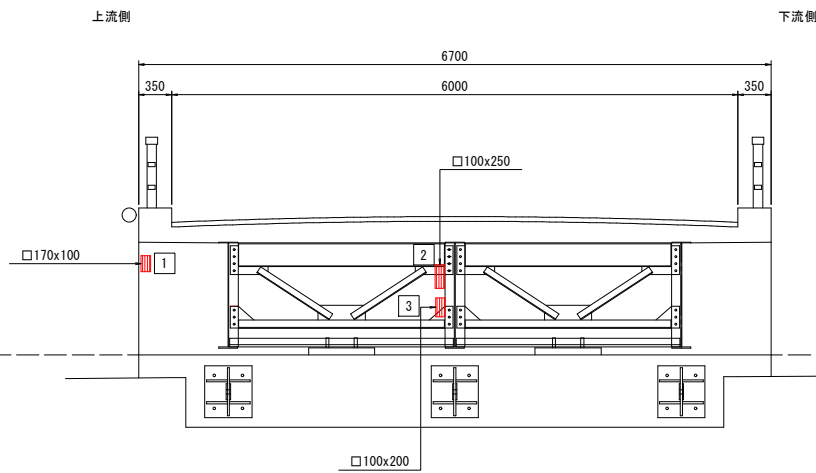
下部工補修詳細図 (1/12) S=1:40

車道橋 A1橋台・A2橋台

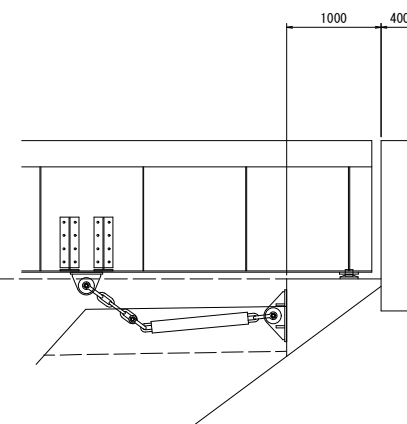
側面図



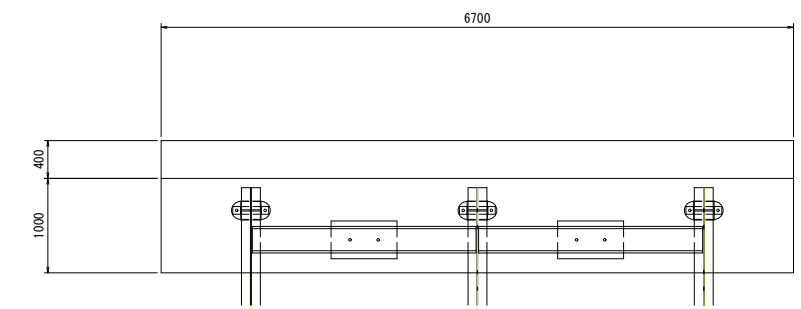
A1橋台
正面図



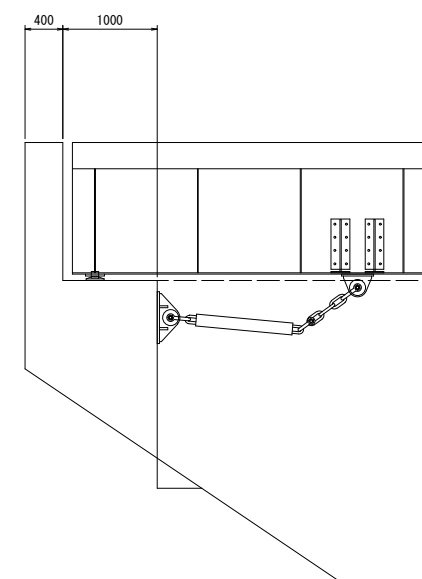
側面図



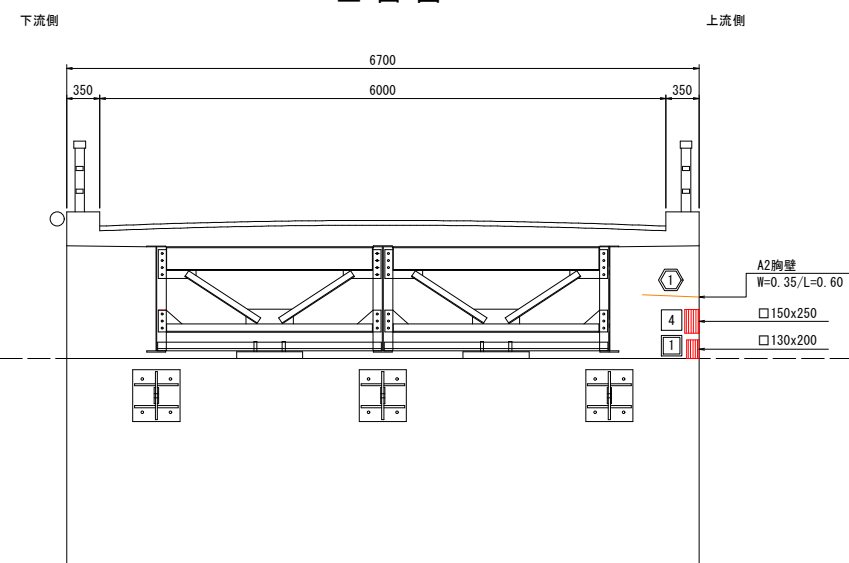
平面図



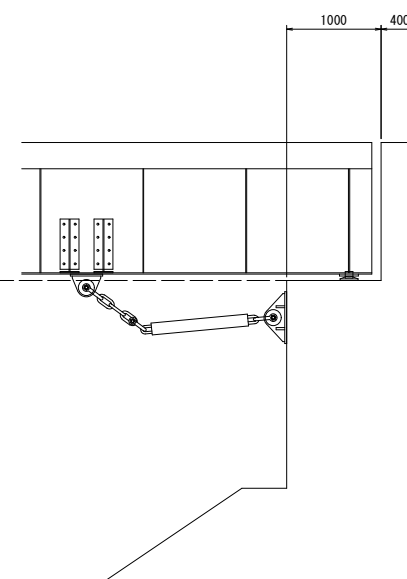
側面図



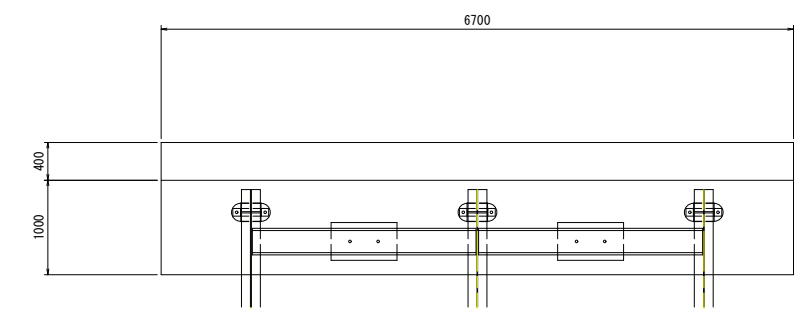
A2橋台
正面図



側面図



平面図

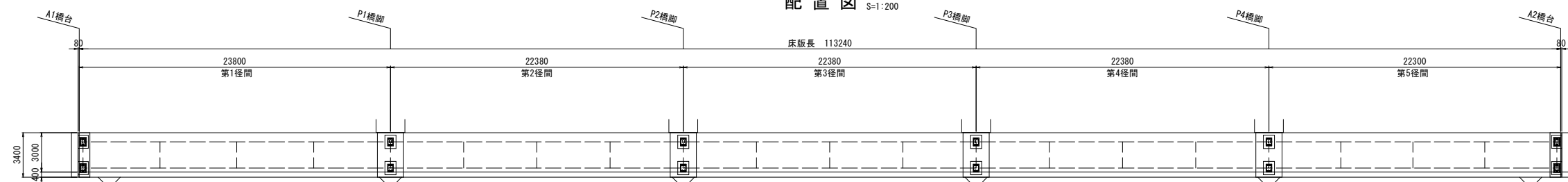


補修凡例

補修工法	断面修復厚	表示
ひび割れ補修工(低圧注入工法)	—	幅/長さ (mm) (m)
断面修復工(左官工法)防錆処理:有	t=100mm	

各工法の補修厚さは、以下の事項を考慮して決定した。
・低圧注入工法：補修対象は、0.3mm以上のひびわれに適用した。
図面表記は補修対象ひび割れのみを表示している。
・左官工法：1段鉄筋の鉄筋裏まで t=100mm
図中の記号は、損傷調査時の番号と同一であり、補修図においては抜け番号がある。

配置図 S=1:200

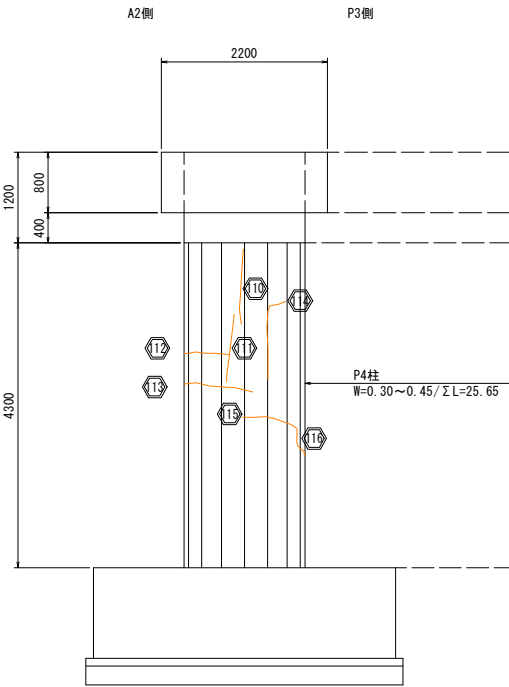


工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事(第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町網懸		
図面名	下部工補修詳細図 (1/12)		
縮尺	図示	図面番号	17 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

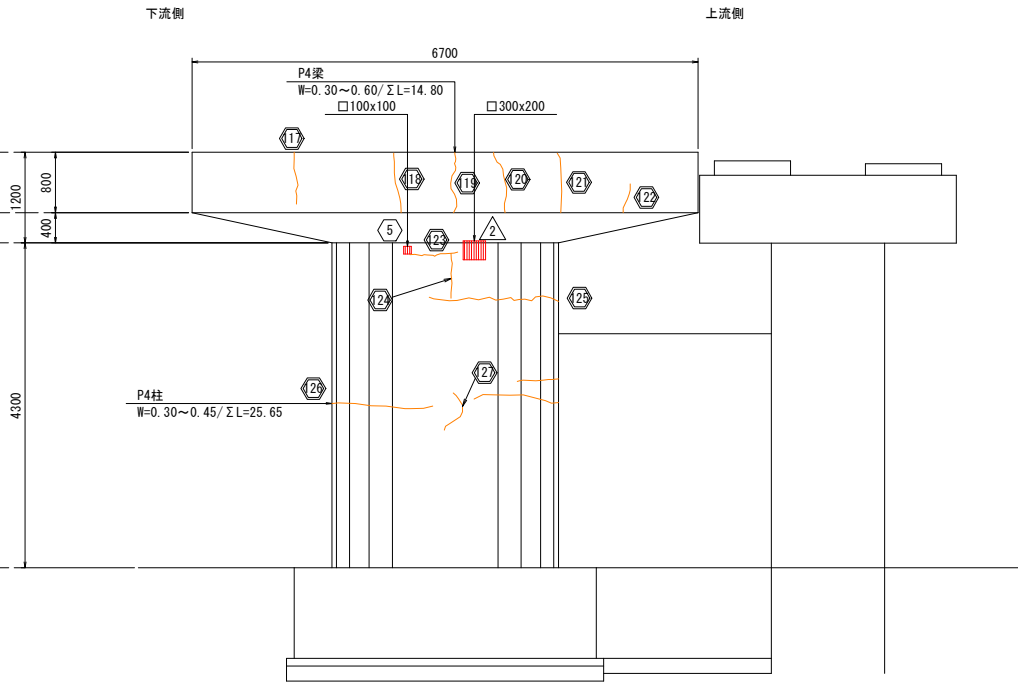
下部工補修詳細図 (5/12) S=1:50

車道橋 P4橋脚

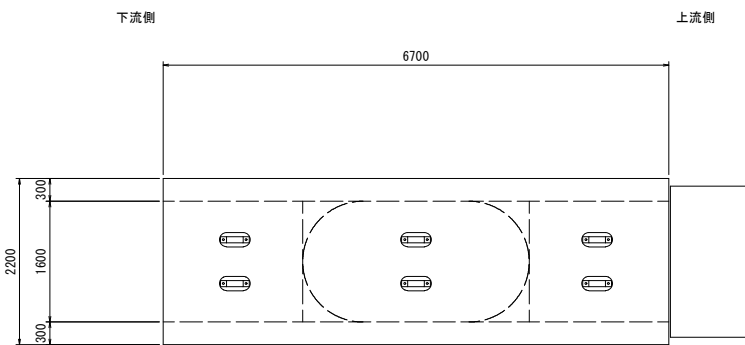
側面図
下流側



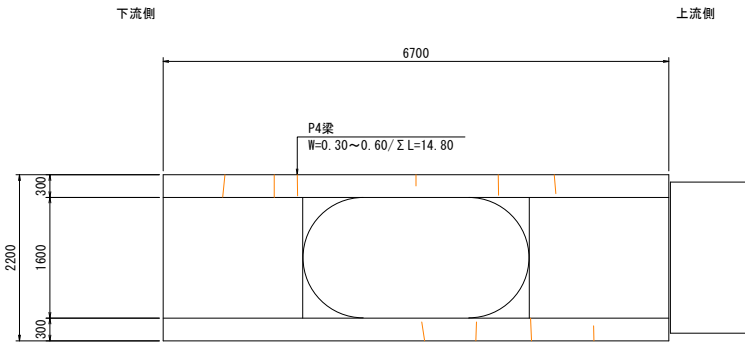
正面図
P3側



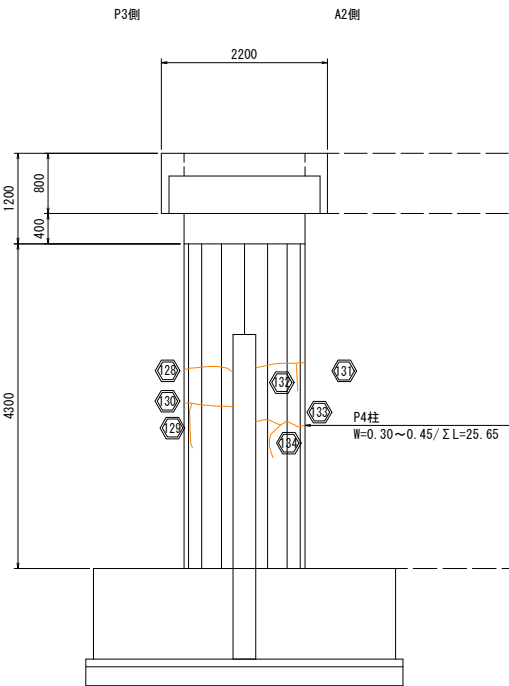
平面図
梁上面



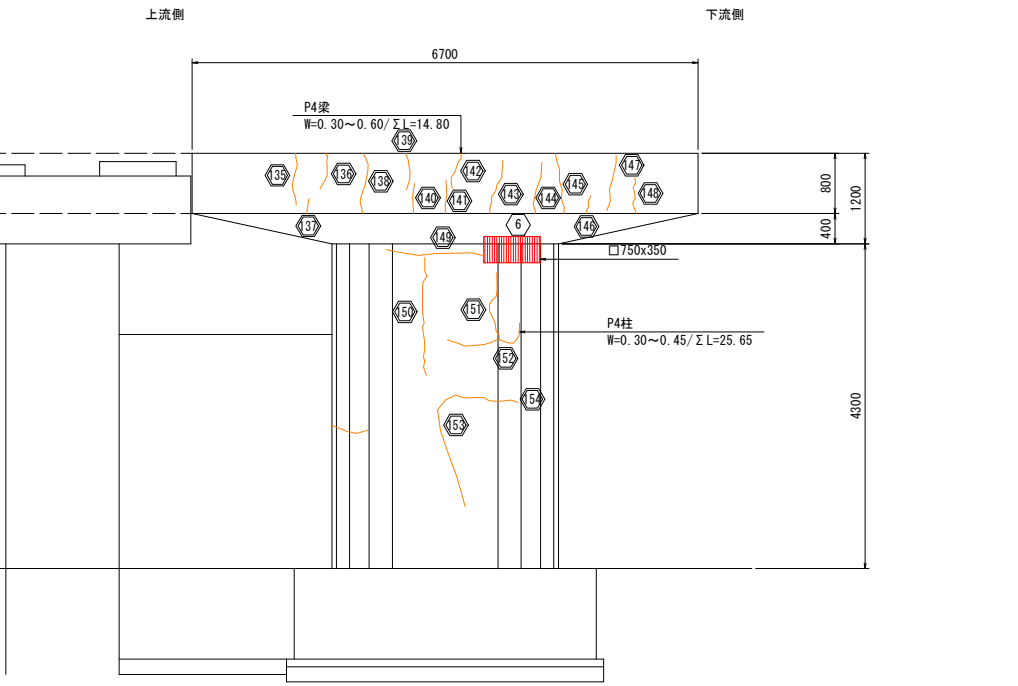
平面図
梁下面



側面図
上流側



正面図
A2側



補修凡例

補修工法	断面修復厚	表示
ひび割れ補修工(低圧注入工法)	---	総延長 (m)
断面修復工(左官工法)防錆処理:有	t=100mm	

各工法の補修厚さは、以下の事項を考慮して決定した。
・低圧注入工法：補修対象は、0.3mm以上のひび割れに適用した。
図面表記は補修対象ひび割れのみを表示している。
・左官工法：1段鉄筋の鉄筋裏まで t=100mm
図中の記号は、損傷調査時の番号と同一であり、補修図においては抜け番号がある。

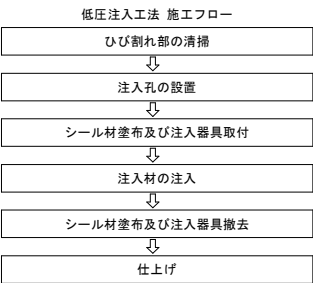
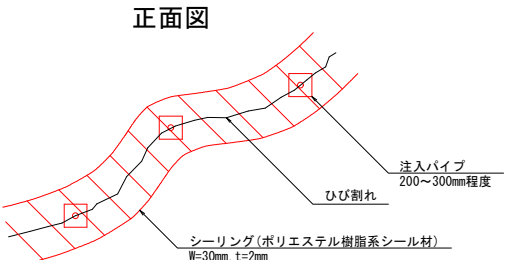
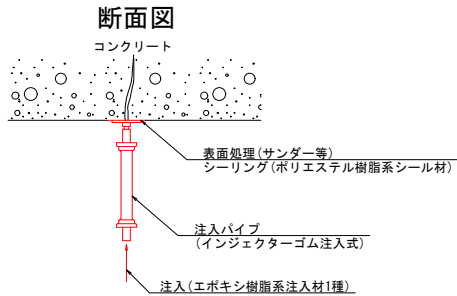
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事（第2工区）		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図面名	下部工補修詳細図（5/12）		
縮尺	図示	図面番号	18 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

下部工補修詳細図 (6/12) S=NS

車道橋

補修工法詳細図

ひび割れ注入工法



※ ひび割れ補修工
・ひび割れ補修工(低圧注入工法)対象は、0.3mm以上のひびわれに適用した。
・使用材料については、1例を示している。施工においては、ひび割れ注入に適した材料を選定し、監督員の承認を得ること。

ひびわれ注入工:低圧注入

下部工名	W (mm)	L (m)	備考
A2橋台	0.35	0.60	
	小計	0.60	
P1橋脚	0.50	1.80	
	0.40	1.10	
	0.35	3.55	
	0.30	13.25	
	小計	19.70	
P2橋脚	0.60	1.10	
	0.50	1.70	
	0.40	3.45	
	0.35	0.80	
	0.30	20.75	
P3橋脚	小計	27.80	
	0.60	1.85	
	0.40	10.55	
	0.35	0.75	
	0.30	21.90	
P4橋脚	小計	35.05	
	0.60	2.90	
	0.50	1.85	
	0.45	1.30	
	0.40	7.55	
合計	0.35	4.60	
	0.30	22.25	
	小計	40.45	
合計		123.60	

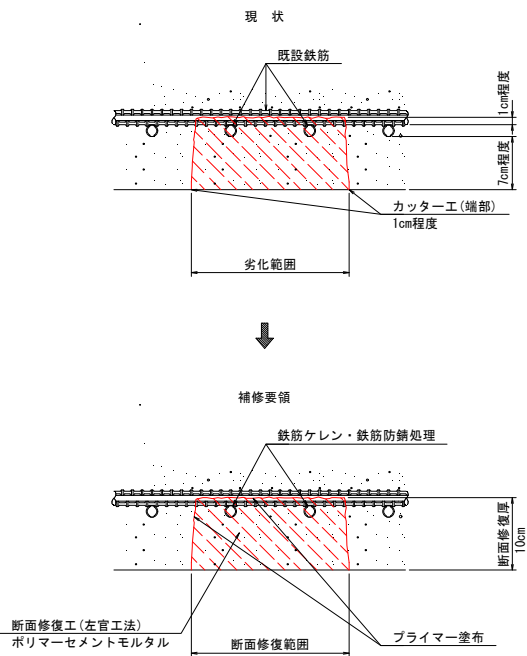
ひびわれ注入工集計表

W =	0.60 mm	L =	5.85 m
W =	0.50 mm	L =	5.35 m
W =	0.45 mm	L =	1.30 m
W =	0.40 mm	L =	22.65 m
W =	0.35 mm	L =	10.30 m
W =	0.30 mm	L =	78.15 m
合 計		L =	123.60 m

補修工法詳細図

断面修復工(左官工法)

既設コンクリート断面欠損部



注記

- ・断面修復工端部にはカッター切りを行い、フェザーエッジとしない様にする。
- ・プライマー塗布前には、塵埃の除去を行うこと。
- ・鉄筋が腐食している場合は鉄筋の裏側まではつりケレンすること。
- ・断面修復材は、ポリマーセメントモルタルとし、空隙を作らないように施工すること。
- ・断面修復深さは、最外縁鉄筋裏までとしt=10cmとした。交差鉄筋が腐食している場合は発注者の承認を得て、断面修復深さを変更すること。

下部工名	数量	単位	適用
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有			
A1橋台	0.062	m2	
A2橋台	0.064	m2	
P1橋脚	-	m2	
P2橋脚	0.392	m2	
P3橋脚	0.090	m2	
P4橋脚	0.333	m2	
合 計	0.941	m2	

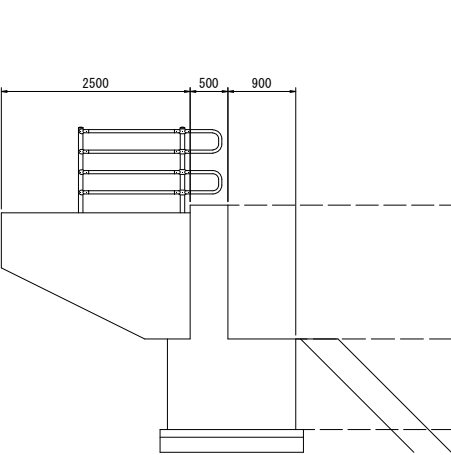
断面修復工集計表

V =	0.094 m3 (設計数量)
-----	-----------------

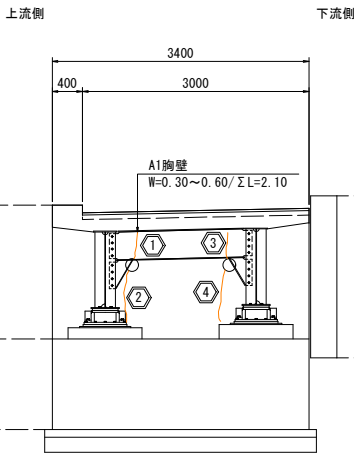
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事（第2工区）		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図 面 名	下部工補修詳細図（6/12）		
縮 尺	図 示	図面番号	19 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

下部工補修詳細図 (7/12) S=1:50
歩道橋 A1橋台・A2橋台

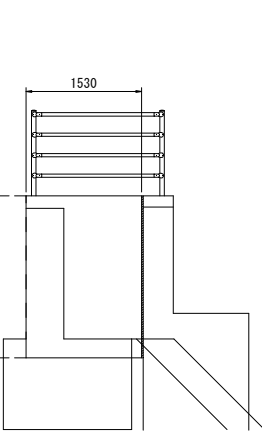
側面図



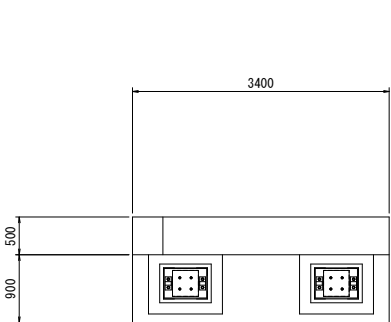
A1橋台
正面図



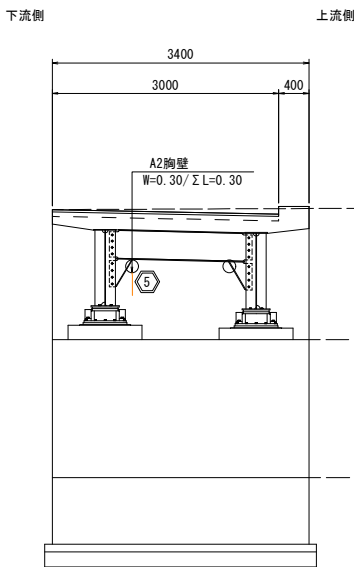
側面図



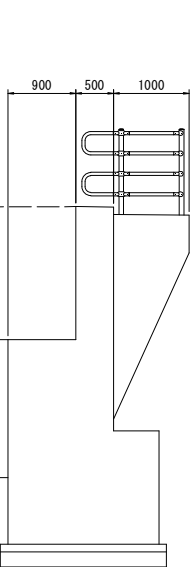
平面図



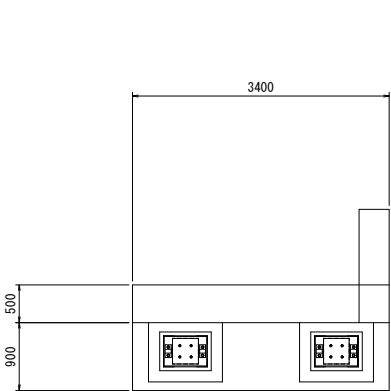
A2橋台
正面図



側面図



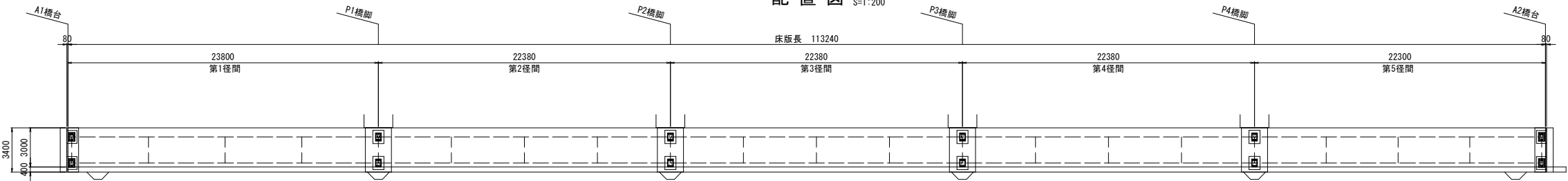
平面図



補修凡例	
補修工法	表示
ひび割れ補修工(低圧注入工法)	 総延長 (m)

各工法の補修厚さは、以下の事項を考慮して決定した。
・低圧注入工法：補修対象は、0.3mm以上のひびわれに適用した。
図面表記は補修対象ひび割れのみを表示している。

配置図 S=1:200

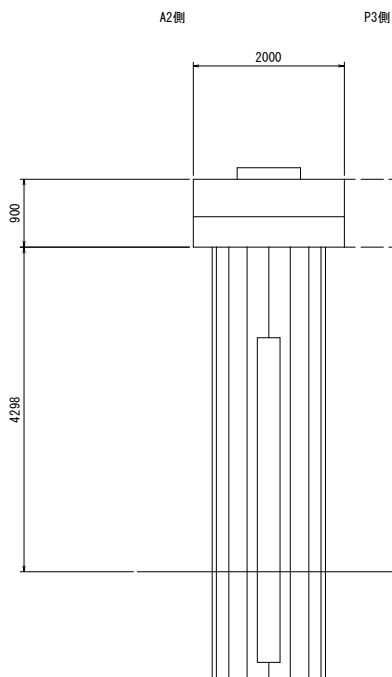


工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事（第2工区）		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図面名	下部工補修詳細図（7/12）		
縮尺	図示	図面番号	20 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

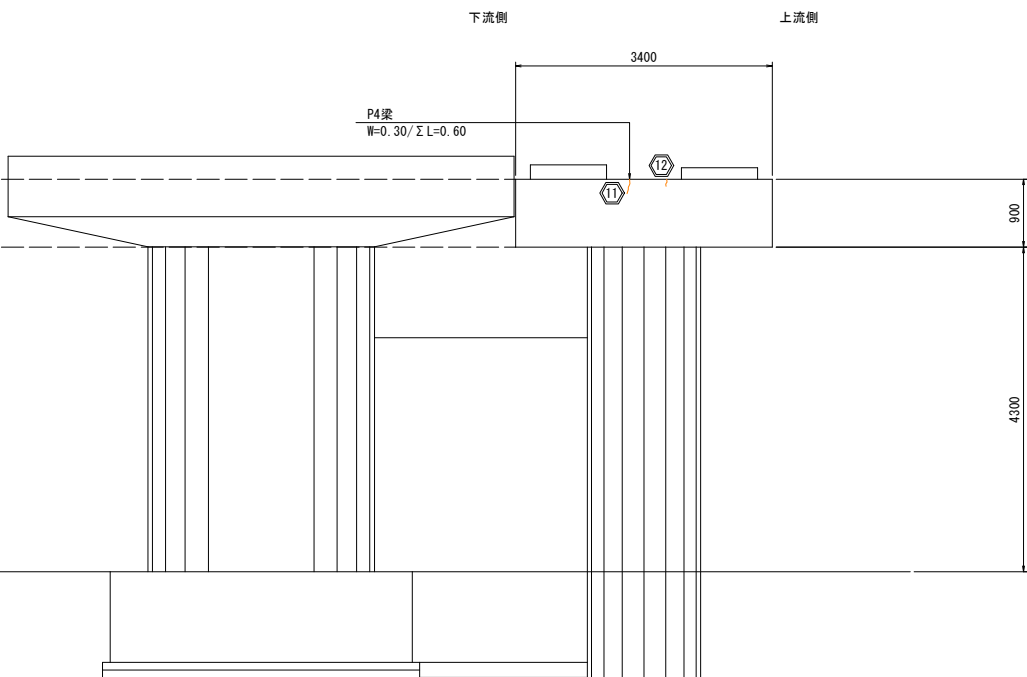
下部工補修詳細図 (11/12) S=1:50

歩道橋 P4橋脚

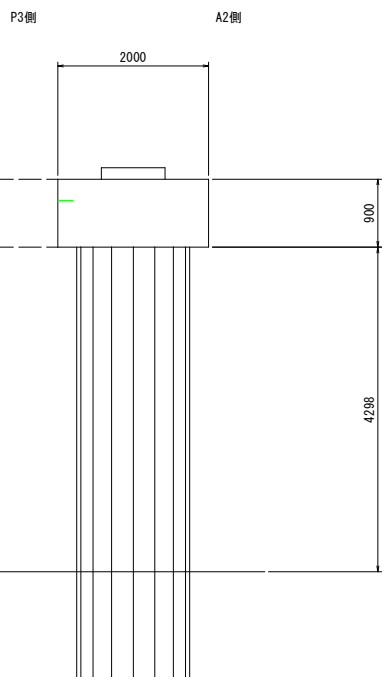
側面図
下流側



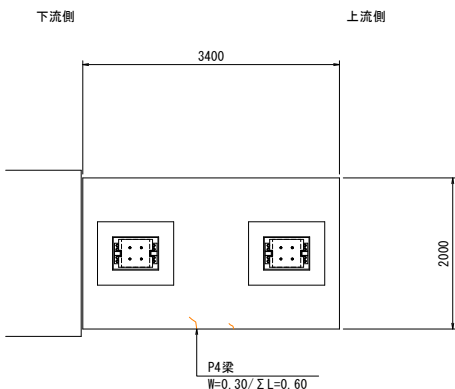
正面図
P3側



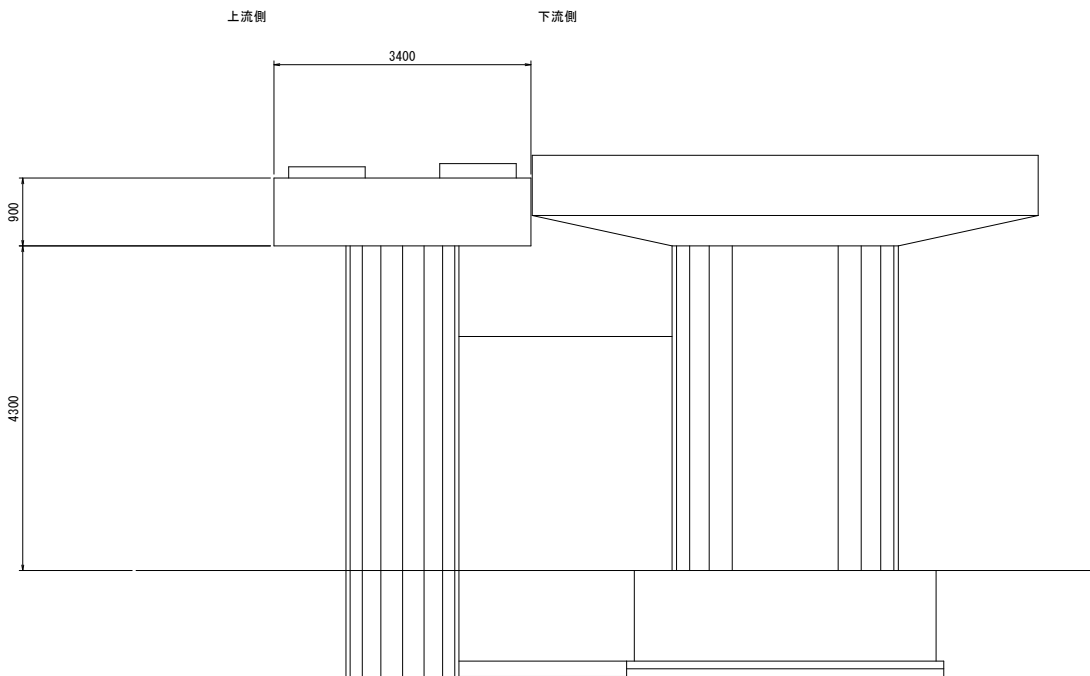
側面図
上流側



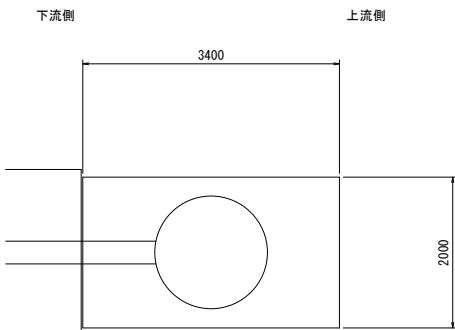
平面図
梁上面



正面図
A2側



平面図
梁下面



補修凡例

補修工法	表示
ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	 総延長 (m)

各工法の補修厚さは、以下の事項を考慮して決定した。
・低圧注入工法：補修対象は、0.3mm以上のひびわれに適用した。
図面表記は補修対象ひび割れのみを表示している。

工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図 面 名	下部工補修詳細図 (11/12)		
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

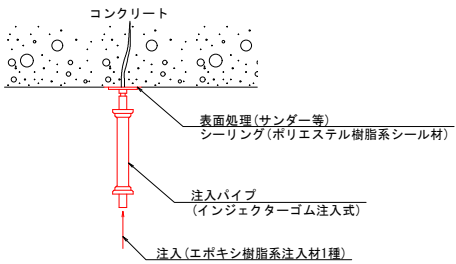
下部工補修詳細図 (12/12) S=NS

歩道橋

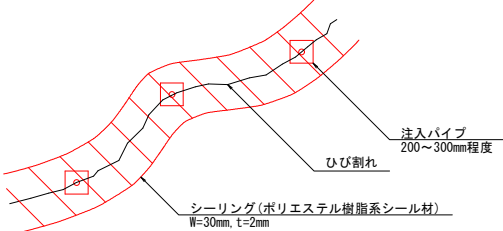
補修工法詳細図

ひび割れ注入工法

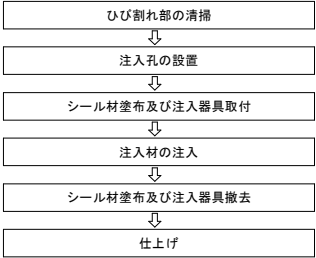
断面図



正面図



低圧注入工法 施工フロー



※ ひび割れ補修工
・ひび割れ補修工(低圧注入工法)対象は、0.3mm以上のひびわれに適用した。
・使用材料については、1例を示している。施工においては、ひび割れ注入に適した材料を選定し、監督員の承認を得ること。

ひびわれ注入工:低圧注入

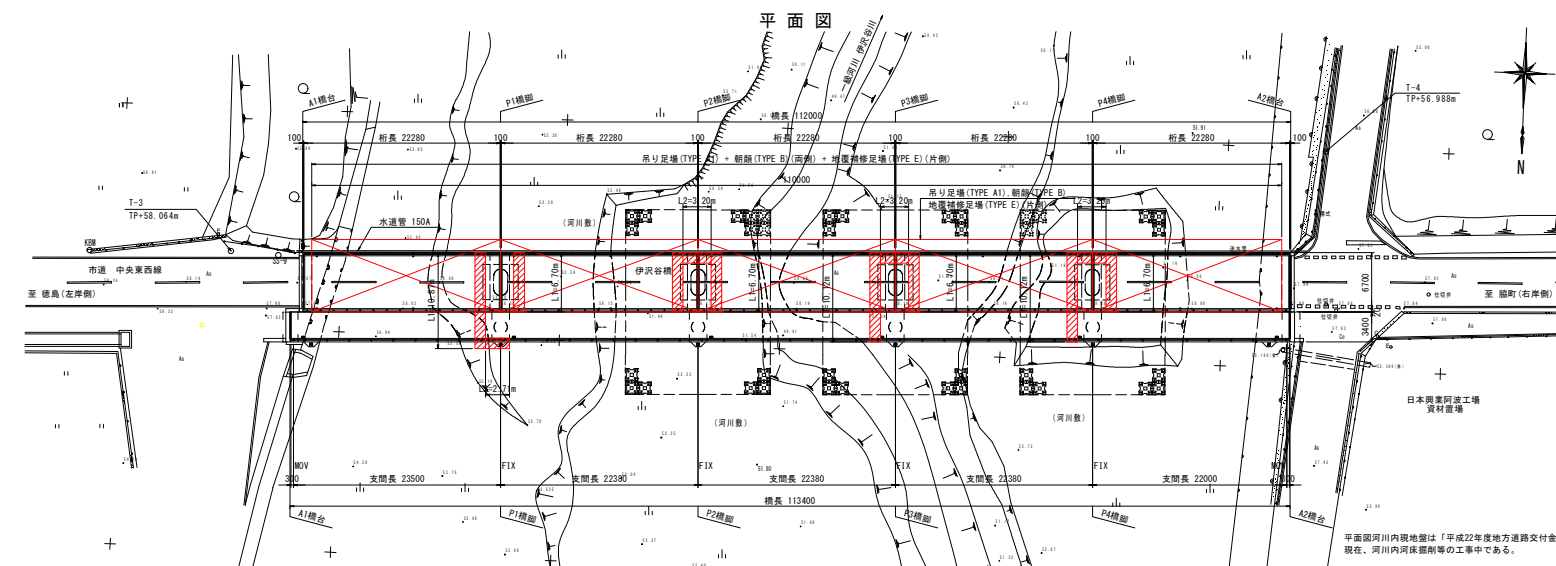
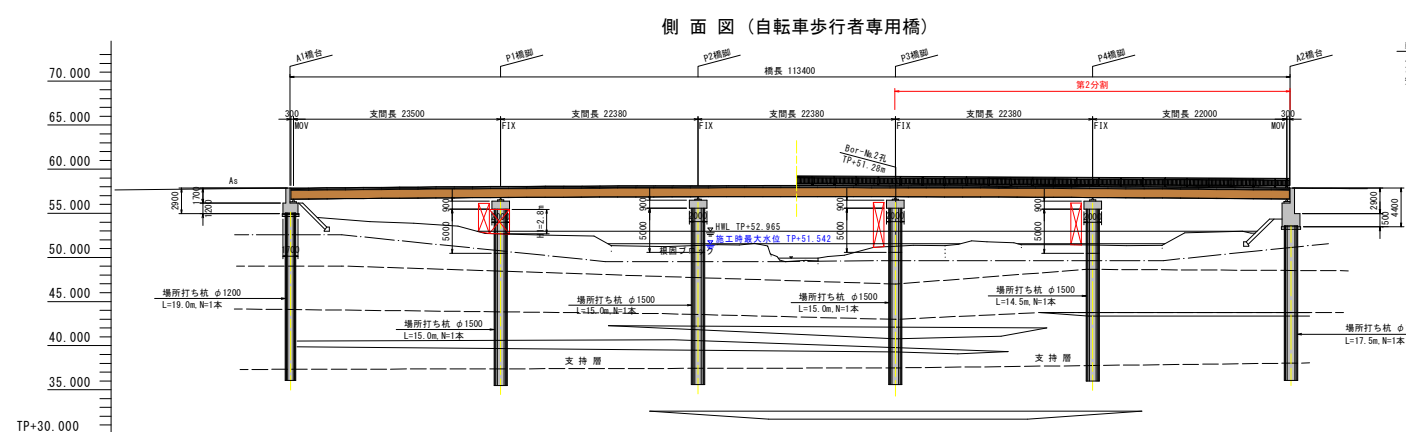
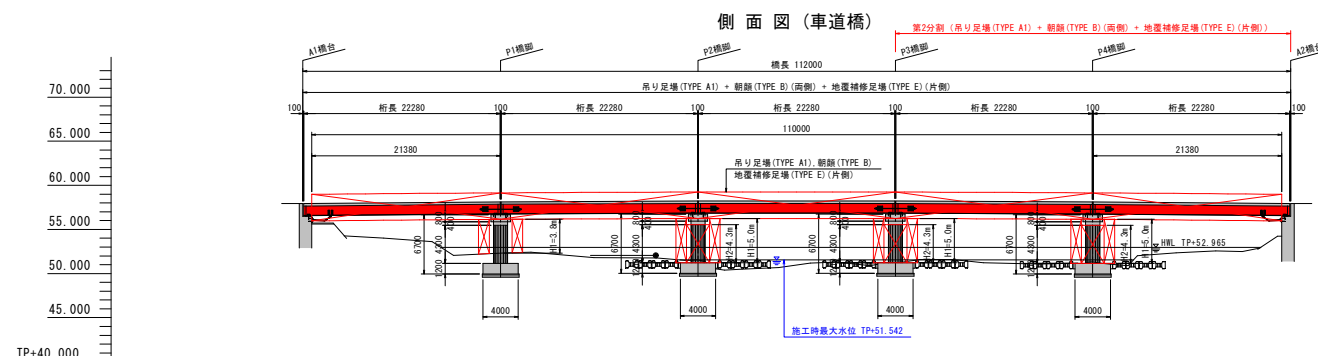
下部工名	W(mm)	L(m)	備考
A1橋台	0.60	1.05	
	0.30	1.05	
	小計	2.10	
A2橋台	0.30	0.30	
	小計	0.30	
P1橋脚	0.30	1.80	
	小計	1.80	
P3橋脚	0.30	3.15	
	小計	3.15	
P4橋脚	0.30	0.60	
	小計	0.60	
	合計	7.95	

ひびわれ注入工集計表

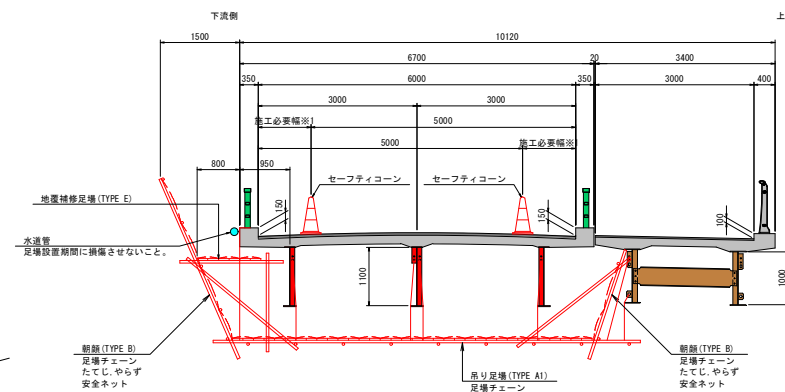
W =	0.60 mm	L =	1.05 m
W =	0.30 mm	L =	6.90 m
合 計		L =	7.95 m

工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事 (第2工区)		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図 面 名	下部工補修詳細図 (12/12)		
縮 尺	図 示	図面番号	22 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

補修足場工参考図 S=1:300



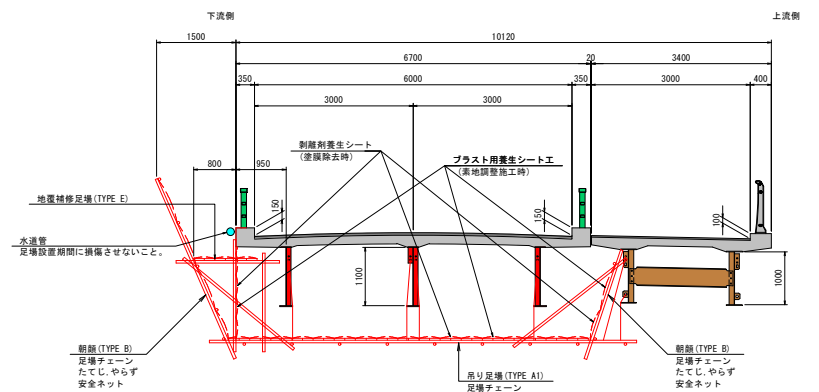
上部工断面図 S=1:50
床版・地覆・高欄工補修時



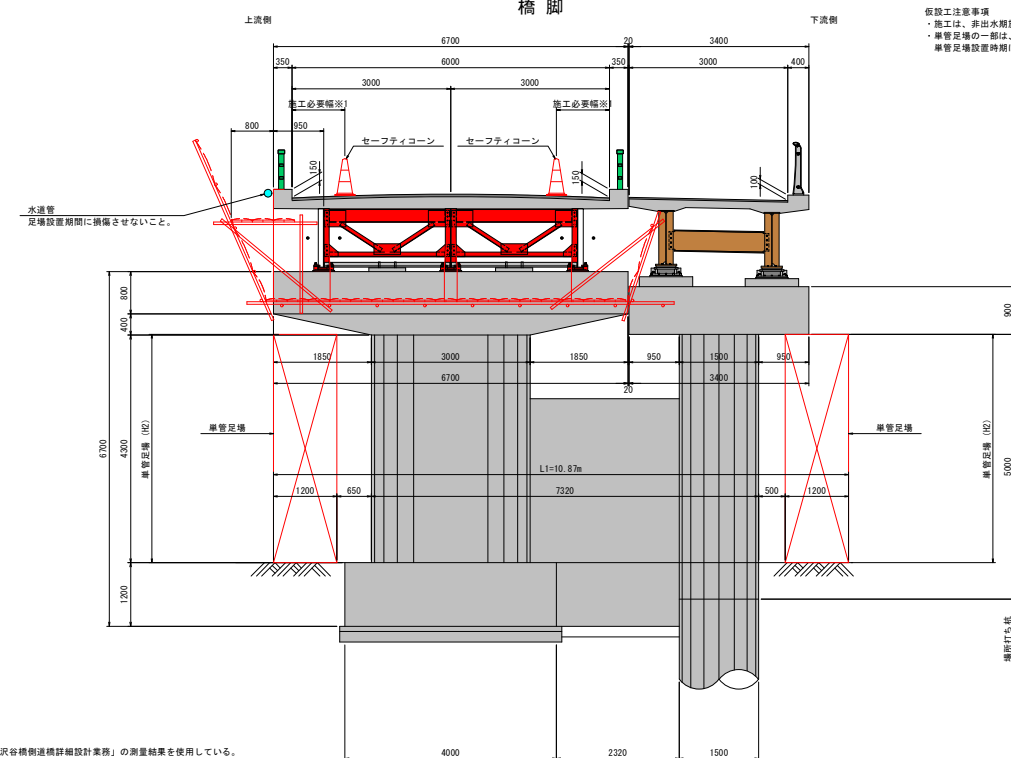
※1 既設防護柵撤替え塗装について

- ・施工は、片側ずつとしセーフティーコーンにより施工ヤードを確保する。
- ・施工中は、一般車両通行を片側交互通行にて規制を実施する。
- ・作業時間外は、コーンを車道上から撤去すること。（幅員が狭く通行の支障となるため。）
- ・横軸方向規制延長は、作業人員や1日当り施工量を考慮して決定すること。

上部工断面図 S=1:50
塗替塗装・支承補修時



下部工正面図 S=1:50
橋脚

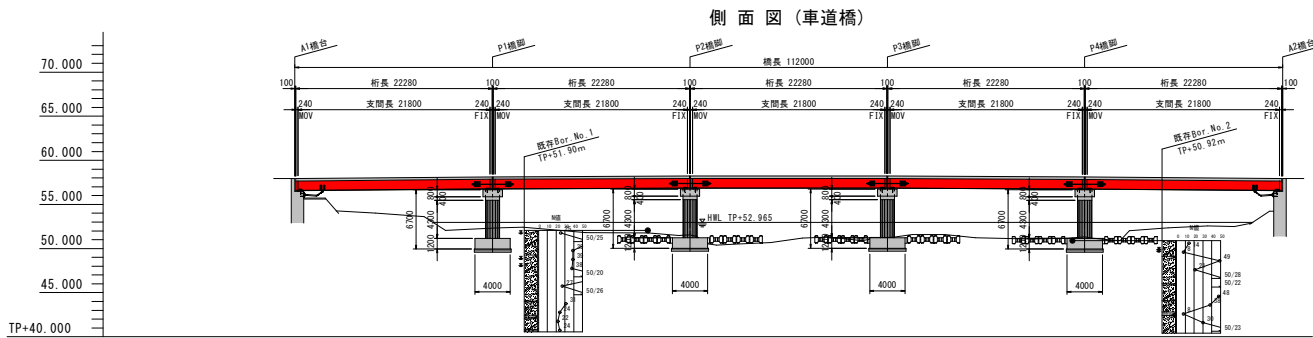


仮設工注意事項

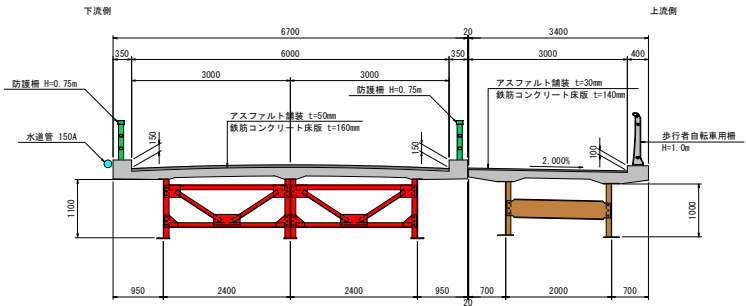
- ・施工は、非出水期施工とする。
- ・単管足場の一部は、施工時最大水位内での仮設となるため、施工は短期間を実施し速やかに撤去すること。
- ・単管足場設置時期に、出水が予想される場合は、事前に足場を撤去すること。

工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事（第2工区）		
路線名等	市道 中央東西線		
工事箇所	阿波市阿波町綱懸		
図 面 名	補修足場工参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	23 / 24
会 社 名	株式会社 フジタ建設コンサルタント		
事業者名	徳島県阿波市		

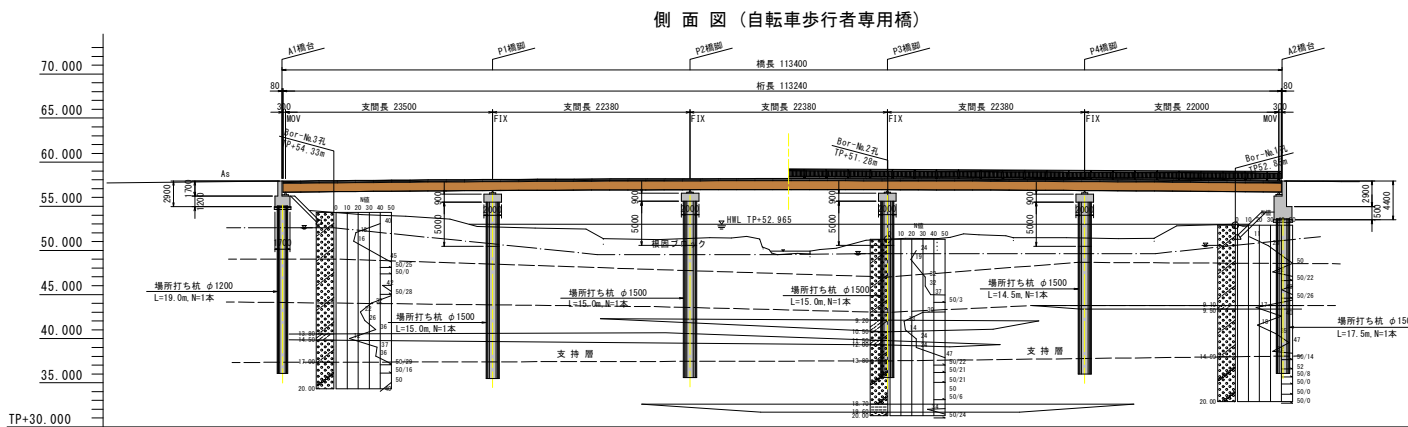
既設橋梁一般図 S=1:300



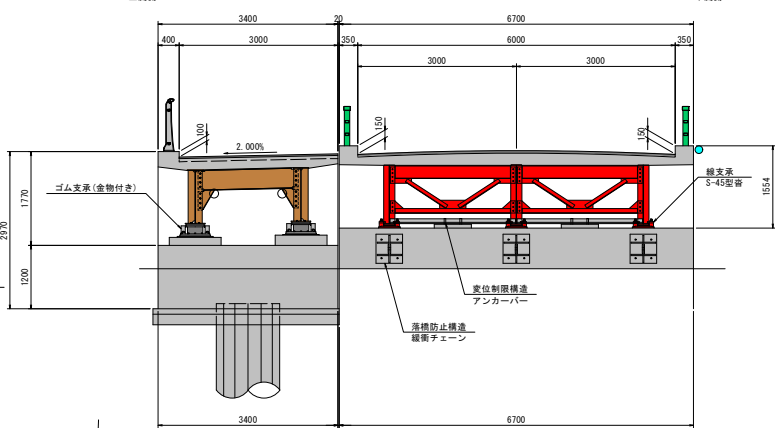
上部工断面図 S=1:50



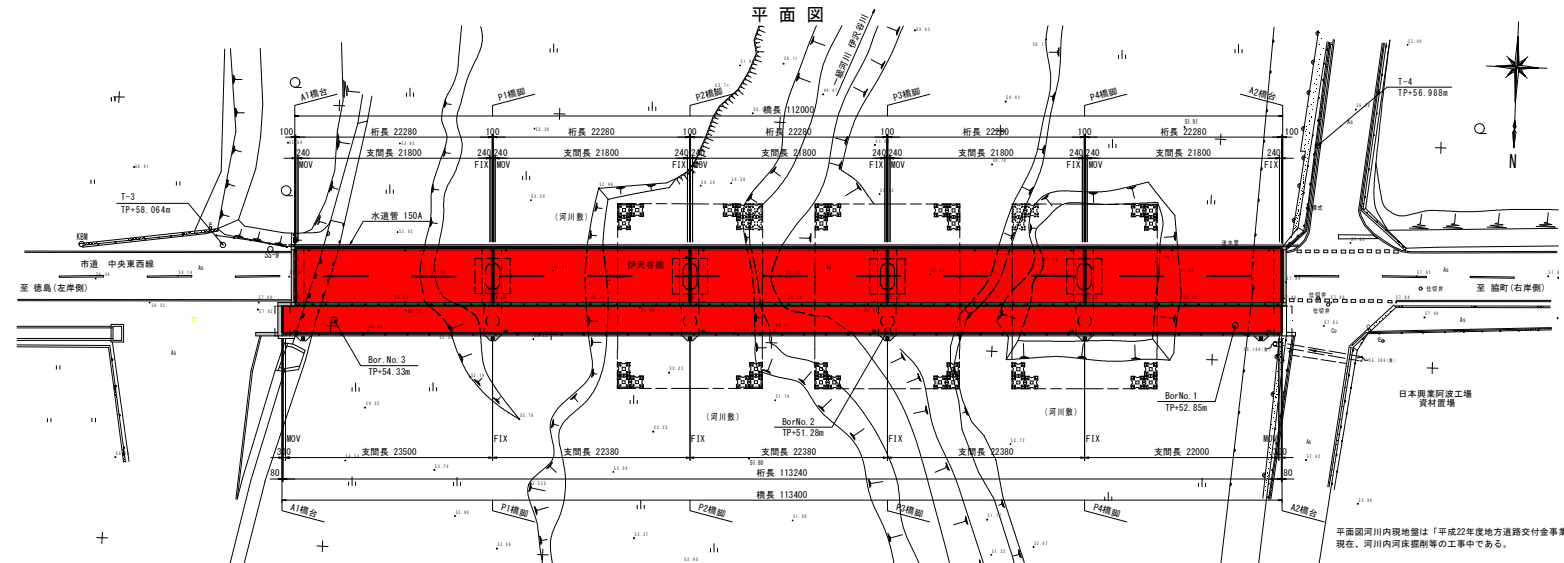
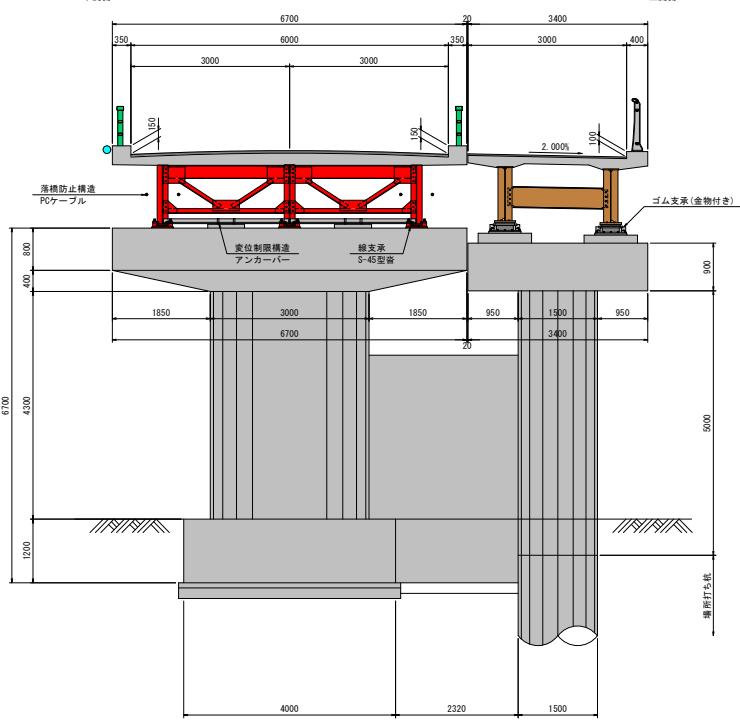
下部工正面図 S=1:50



A1橋台



P1橋脚



現橋諸元

路線名	市道 中央東西線
橋名	伊沢谷橋
橋梁規格	車道橋
築設年度	昭和47(1972)年3月
設計荷重	2等橋(TL-14t)
形式	5径間連続RC床版合成断面橋
橋長	112.000m
桁長	5径間連続RC床版非合成断面橋
支間	5径間連続RC床版非合成断面橋
有効幅員	6.000m
傾斜	θ=90°
縦断勾配	1.0%程度 凸型勾配
横断勾配	2.0% 放物線勾配
舗装	アスファルト舗装
橋体形式	逆T式橋台、張出式橋脚
下部工材	鉄筋コンクリート
適用基準	道路橋示方書 昭和39年

平面図河川内視地盤は「平成22年度地方道路交付金事業 中伊沢谷橋側道橋詳細設計業務」の測量結果を使用している。
現在、河川内河床掘削等の工事中である。

工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 伊沢谷橋補修工事(第2工区)
路線名等	市道 中央東西線
工事箇所	河津市河津町橋脚
図面名	既設橋梁一般図
縮尺	図示
図面番号	24 / 24
会社名	株式会社 フジタ建設コンサルタント
事業者名	徳島県河津市